

VI 施策展開の指針

基本構想で示した「政策推進に向けた重点指針」を施策展開に反映するため、次の指針を掲げます。

1 市民活動

市民の活動を地域の力につなげます。

(1) 活動を広める

市民の活動意欲の高まりを新たな活動に結びつけるとともに、培われてきた活動を広めます。

(2) 質を高める

計画から多様な主体の参画を図り、連携を進めることで、活動の質を高めます。

(3) 効果を上げる

地域の課題や状況の変化を的確にとらえて柔軟に対応し、活動の効果を上げます。

2 情報共有

情報を共有し、地域で活かします。

(1) 積極的に公開・発信する

的確な情報を広く公開・発信することで、有益な情報となります。求められる情報を積極的に公開・発信することを心がけます。

(2) わかりやすく伝える

情報は必要とするところへ伝わることで価値を持ちます。伝えたい情報が相手に伝わるように、表現や手法を工夫します。

(3) とらえ活かす

情報はさまざまな形でさまざまなところから発信されています。有益な情報を的確にとらえ、有効に活用します。

3 行財政運営

持続できる行財政運営を進めます。

(1) 重点的に取り組む

課題を見極め、対応は重点的に期間を定めて取り組みます。

(2) 計画的に進める

将来の財政への影響を考慮しながら、事業を計画的に進めます。

(3) 必要により見直す

効果を見極めながら、改善（より能く代える、ムダを省く）に努めます。

I 能代市総合計画市民協働会議提言

提言事項

- 1 今後5年間で優先的に取り組むべき事項
- 2 めざす目標指標
- 3 基本構想でめざす姿や状態に近づくために考えられる「望ましい取組」とその「担い手」

参考事項

- 4 「現状と課題」「施策の方向」に関する意見
 - 5 ロジックモデルを使った検討状況
- 能代市総合計画市民協働会議委員名簿

II めざす目標指標の推移

III 参考資料

後期基本計画の策定の経緯
市町村別人口推計

能代市総合計画市民協働会議提言

能代市のまちづくりの指針として20年度に策定された能代市総合計画は、24年度で前期基本計画の計画期間を終えることから、後期基本計画を市と市民の協働により策定するため、市民協働会議が設置され、この会議において様々な検討を行ってまいりました。

検討内容としては、まちづくりを効果的に推進するための「担い手・役割」の検討や、まちづくりの進捗状況を測るための目標指標に関する目標値の見直しのほか、各施策の点検、他に優先して取り組むべき事項の検討などです。

計画策定時に最優先課題として掲げた「若者の定住に結びつく産業創出と雇用確保」や、優先課題として掲げた「市民が地域で活躍できる環境の整備」、「市民の暮らしの向上と安心の確保」については、基本構想でめざす姿や状態の実現のため、引き続き重要な課題として取組を進めていく必要があります。こうした視点も含め、策定から5年間の状況変化などを踏まえて検討する中で、今後5年間のまちづくりに求められる重要な視点として次の点が挙げられました。

- (1) 市民が健康に暮らすため、病気の早期発見や予防の取組のほか、生涯スポーツや食に関する取組など、市民や各種団体、事業者、行政等が一体となって健康増進に向けた取組を進めることが必要である。また、中核病院や地域がん診療連携拠点病院の体制整備、病診連携の強化等、将来的な医療環境の向上に向け取組を進めることが必要である。
- (2) 少子高齢化や人口減少が進む中で、将来にわたって地域を維持・発展させていくために、市民の生活基盤を確立すること、特に若者の定住に結びつけるための産業の創出や雇用の確保などの総合的な取組が重要である。
また、地域資源や持てる強みを最大限に活かす中で、6次産業化や二次加工産業の創出等も含めた農業の振興及び観光の振興を図るとともに、既存の商店街の活性化に取り組むことが必要である。
- (3) 除排雪や子育てなど、身近な地域課題への対応として、小さな単位での地域コミュニティの形成を図るなど、世代間で支え合う地域社会の実現に取り組むことが必要である。

このほか、定員適正化計画に基づき市職員が減少している現状にあって、今後見込まれるさまざまな政策課題に対応できる人材確保が必要であるといった指摘もありました。

以上を踏まえ、能代市総合計画に掲げた将来像“わ”のまち 能代 の実現に向けた、総合計画後期基本計画の策定に当たり、計画に反映していただきたい事項を「提言事項」、計画の策定や実行段階で参考にしていただきたい事項を「参考事項」として次のように取りまとめ、提言いたします。

平成24年11月22日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議

委員長 河井 千代子

提言事項

1 今後5年間で優先的に取り組む事項

班	優先して（重点的に）取り組むこと	関連する施策 (政策体系図参照)
	選定の理由（概略）	
A	<p>コミュニティで支え合う特色ある地域づくりのために</p> <p>○小さなコミュニティをつくり、そこに世代間交流ができる環境づくりをする。</p> <p>○そのコミュニティの中には、これから子どもを産み育てる年代の家族が全体の20～30%を目指す。</p> <p>○市内の中の町内コミュニティをそれぞれ集約させて、小さなコミュニティをあちこちに成立させる。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がっての町内活動では活性化しない。 ・子育て世代がお互いに悩み等を相談できる環境づくりをし、世代間で支え合う地域社会づくりを実現するため。 	<p>(担当する分野)</p> <p>1(1)④ 1(3)①②</p> <p>(他グループに関係する分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用を生む。 ・住環境を中心市街地に集約する。 ・医療充実を図る。(小児、産婦人科) ・住宅を中心に求める場合、固定資産税減免等を。
B	<p>○市を挙げて心と体の健康づくりに取り組む</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺者全国トップ、ガンの死亡率も能代市は多い。 	<p>(担当する分野)</p> <p>1(5)①～④ 1(6)③</p> <p>(他グループに関係する分野)</p> <p>1(9)①スポーツ 3(5)①②医療 3(1)③</p>
C	<p>○誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツは、豊かな生活や生きがいづくりのほか、競技力・体力の向上や健康の維持・増進の効果が期待されます。みんなが楽しめるチャレンジデーの開催なども望まれます。日常的にスポーツに親しむことのできるよう、様々な年代、能力や趣味・関心、ライフスタイルに応じたスポーツの環境づくりが求められます。 	<p>(担当する分野)</p> <p>1(9)①</p> <p>(他グループに関係する分野)</p> <p>1(5)① 1(6)① 1(4)④ 1(2)③</p>
D	<p>○若者の定住に結びつく雇用の場を確保する</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の流出に歯止めをかけなければ、地域の活性化は望めない。 	<p>(担当する分野)</p> <p>2(1)① 2(2)①</p> <p>(他グループに関係する分野)</p> <p>2(7)④</p>
D	<p>○力強く持続する農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業である農業を後世にわたって維持していく ・農業後継者の確保と6次産業化を含む農業の振興を図る <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる。担い手が不足している。 	<p>(担当する分野)</p> <p>2(3)②</p> <p>(他グループに関係する分野)</p>

班	優先して（重点的に）取り組むこと	関連する施策 (政策体系図参照)
	選定の理由（概略）	
E	<p>○豊かな自然やイベント(祭り)などの観光資源を活用し、まちの活性化を図る</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に花火、8月役七夕、9月おなごり、10月ニツ井マラソンと長期間イベントを続けているところはなかなかない。これを利用して、外から来た人達に刺激をもらって観光の誘客につなげて、まちが元気になるようにもっていきたい。 	<p>(担当する分野)</p> <p>②観光素材をメニュー化して受け入れ体制を整える。</p> <p>(他グループに関係する分野)</p>
E	<p>○まちのにぎわいをつくり出すために、個店や商店街の活性化を図る</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の商店の活性化が大事である。空き店舗の支援や、個店のPR事業は今まで実施している。今年は新たにまちゼミ事業を取り入れたりしている。さらに個店と商店街の活性化にむけ、取り組んでいきたい。 	<p>(担当する分野)</p> <p>2(5)②中心商店街の空き店舗、空き地の活用を進める。</p> <p>(他グループに関係する分野)</p>
F	<p>○身近な排雪場所を確保する</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排雪場所が少なく、遠い。 ・地権者の協力が得られにくい。 	<p>(担当する分野)</p> <p>3(2)② 機能的で利用しやすいネットワーク</p> <p>(他グループに関係する分野)</p>
G	<p>○地域医療環境の一層の充実、強化を図る</p> <p>中核病院や地域がん診療連携拠点病院の体制整備への支援を充実強化するとともに将来的な医療環境の向上を図るため、病診連携の強化に努めていく必要がある。</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の医療環境の高度化と質の向上を図り、市民の健康を確保していくため。 	<p>(担当する分野)</p> <p>3(5) 安心でき健康を保てる医療体制</p> <p>(他グループに関係する分野)</p> <p>1(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり</p>
G	<p>○政策課題に対応できる人材を確保する</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員数の適正化(職員数の減少)に伴い、様々な政策課題に対応できるよう、少数精鋭が求められる。そのためには、職員の能力発揮、メンタルヘルスへの対応、適正な人事評価などへの取り組みが必要となる。 	<p>(担当する分野)</p> <p>3(7)⑥</p> <p>(他グループに関係する分野)</p>

2 めざす目標指標

基本目標						
政策						
目標指標	目標数値の方向性	19年度の基準値	24年度の現状値	29年度の目標	その他	備考
1 輝きとぬくもりのまち						
(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり						
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	増	37.8%	33.9%	50%		市民意識調査
ボランティアセンター登録者数	増	5,148人	5,023人	6,000人		
(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習						
知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	増	19.0%	16.7%	30%		市民意識調査
自主学习グループ数(公民館登録)	増	257団体	263団体	280団体		
自主学习グループ会員数(公民館登録)	増	4,249人	4,667人	5,000人		
生涯学習指導者、ボランティア登録者数	増	27組	40組	50組		
(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援						
子育てを地域で支えあう雰囲気があると 思う市民の割合	増	25.5%	28.3%	35%		市民意識調査
ファミリーサポートセンター会員登録数	増	12人	162人	200人		
ファミリーサポート事業利用件数	増	1件	132件	150件		
(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育						
子どもが地区でのびのびと育っている と思う市民の割合	増	47.8%	52.6%	60%		市民意識調査
(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり						
からだ健康だと思ふ市民の割合	増	62.5%	57.2%	70%		市民意識調査
心が健康だと思ふ市民の割合	増	61.8%	58.8%	70%		市民意識調査
週3回以上運動・スポーツに親しんでいる人の割合	増	28.9%	28.9%	39%	新規	市民意識調査
がん死亡率(人口10万人対)	減	4.078	396.0	326.2		
自殺死亡率(人口10万人対)	減	67.4	30.5		県平均を下回ることを目指す	
喫煙率	減		19.3%	15%	新規	市民健康意識調査
(6) 地域で活躍する元気な高齢者						
高齢者人口に対する自立高齢者率	増	84.0%	80.6%	80%		
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民(高齢者)の割合	増	48.1%	46.7%	60%		市民意識調査
シルバー人材センターの登録会員数	増	391人	357人	400人		
シルバー人材センターの就業延人員	増	40,029人	4,1959人	44,032人		
(7) 地域で社会で自立する障がい者						
障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	増	0人	20人	40人		
事業所における障がい者雇用率	増	2.31%	2.46%	2.7%		
障がいを持つ人も社会参加できる環境が整っていると思ふ市民の割合	増	12.9%	14.4%	20%		市民意識調査

基本目標						
政策						
目標指標	目標数値の方向性	19年度の基準値	24年度の現状値	29年度の目標	その他	備考
1 輝きとぬくもりのまち						
(7) 地域で社会で自立する障害者						
障がい者支援ボランティア団体登録者数	増	125人	80人	100人	新規	
ボランティアセンター登録者数	増	5,148人	5,023人	6,000人		
公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	増	5.4%	9.3%	12%		
(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術						
地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	増	33.7%	29.1%	34.0%		市民意識調査
自主学习グループ数(公民館登録)	増	257団体	263団体	280団体	1(2)	
自主学习グループ会員数(公民館登録)	増	4,249人	4,667人	5,000人	1(2)	
能代市民俗芸能連合会加盟団体数	増	19団体	19団体	20団体		
文化財保護協会の会員数	増	121人	114人	150人		
檜山歴史ガイドの会会員数	増	42人	47人	50人		
(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ						
スポーツに親しんでいる市民(週一回以上)の割合	増	43.7%	47.8%	60.0%		市民意識調査
優良競技者・団体表彰数(栄光賞)	増	134人	237人	250人		
スポーツ少年団認定指導者数	維持	364人	451人	450人		
バスケの街を他に誇れると思ふ市民の割合	増	73.6%	42.4%	50%		市民意識調査
(10) 認め合い支え合う社会づくり						
一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思ふ市民の割合	増	8.5%	9.6%	15%		市民意識調査
2 元気づるおいのまち						
(1) 環境を核とした活力ある産業創出						
資源リサイクル関連新設・増設企業数	増	0件	2件	7件		
地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	増	34.2%	30.1%	55%		市民意識調査
能代港の外港・内港商船入港船舶数(能代火力発電所専用棧橋を除く)	増	277隻	203隻	350隻		
能代港の貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)	増	483,562t	333,450t	571,000t		
(2) 雇用を生み出す企業立地						
新設・増設企業数(リサイクル関連企業数を含む)	増	3件	7件	15件		
有効求人倍率	増	0.40倍	0.57倍	県平均を上回る		
新規高卒者の就職内定率	維持	95.9%	100.0%	100%		
(3) 力強く持続する農業						
戦略作物5品目の生産出荷額	増		1,097百万円	1,500百万円	新規	
担い手農地集積率(個人・集団を含む)	増	46.8%	55.2%	60.0%		
地元産の農産物は安全でおいしいと思ふ市民の割合	増	77.5%	83.2%	90%		市民意識調査

基本目標						
政策						
目標指標	目標数値の方向性	19年度の基準値	24年度の現状値	29年度の目標	その他	備考
2 元気とうるおいのまち						
(3) 力強く持続する農業						
学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合	増	28.8%	56.0%	70%		
(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業						
木材製品出荷額	維持	22,782百万円	15,485百万円	15,000百万円		
木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合	増	35.9%	33.4%	55%		市民意識調査
木の学校利用者数	増	10,975人	7,740人	11,000人		
共同研究等(委託を含む)で実際に商品化できた件数	増	0件	1件	5件		
松くい虫被害量	維持	970m ³	2,488m ³	2,500立方		
漁獲高(海)	維持	159t	73t	159t		
(5) まちのにぎわいをつくり出す商業						
地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合	増	45.7%	46.1%	60%		市民意識調査
商店街の空き店舗率	維持	18.5%	25.1%	25%		
(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光						
観光客入込客数	増	1,397,546人	1,410,593人	1,800,000人		
豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合	増	46.1%	42.7%	60%		市民意識調査
(7) 自然と共生し地域で支える環境保全						
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合	増	71.7%	68.0%	85%		市民意識調査
能代クリーンパートナー登録団体数	増		17団体	30団体	新規	
(8) 資源を大切に社会を持続できる衛生環境						
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(リサイクルできるものを除く)	減	642g	525g	500g		
限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合	増	88.5%	87.5%	92%		市民意識調査
3 安全と安心のまち						
(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制						
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合	増	25.5%	45.6%	50%		市民意識調査
防災訓練参加者数	増	6,269人	11,788人	8,000人		
消防団員の定員の充足率	増	86.8%	83.0%	93.8%		
がけ地近接等の危険住宅の戸数	減	62戸	61戸	60戸		
能代警察署管内の交通事故死者数	減	5人	4人	0人		
能代警察署管内の犯罪件数	減	610件	317件	280件		
(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク						
道路の整備延長(改良率)	増	55.9%	57.2%	58%		
道路の整備延長(舗装率)	増	68.0%	68.6%	69%		

基本目標						
政策						
目標指標	目標数値の方向性	19年度の基準値	24年度の現状値	29年度の目標	その他	備考
3 安全と安心のまち						
(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク						
除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	増	42.9%	42.5%	50%		市民意識調査
巡回バスの1便平均利用者数	増	14.1人	13.0人	18人		
(3) 効果的で調和のとれた土地利用						
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	減	20.5%	23.3%	20.5%		
(4) 快適で暮らしやすい住環境						
水道普及率	増	85.6%	87.7%	90%		
汚水処理人口普及率	増	57.7%	63.2%	76%		
飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	増	65.1%	69.7%	75.0%		市民意識調査
(5) 安心でき健康を保てる医療体制						
身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	増	66.2%	63.1%	85.0%		市民意識調査
身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	増	51.0%	56.1%	75.0%		市民意識調査
(6) 不安のない生活を支える社会保障制度						
認定者のうち、要介護2～5の割合	維持		50.5%	50%	新規	
高齢者人口に対する自立高齢者率	増	84.0%	80.6%	80%	1(3)新規	
(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤						
市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合	増	31.9%	38.7%	60%		市民意識調査
職員適正化計画に基づく職員数	減	634人	516人	428人		
市税の収納率(現年度分)個人市民税	増	97.97%	98.01%	98.00%		
市税の収納率(現年度分)法人市民税	増	99.47%	99.38%	99.60%		
市税の収納率(現年度分)固定資産税	増	97.28%	96.68%	97.40%		
市税の収納率(現年度分)軽自動車税	増	97.12%	97.26%	98.00%		
市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合	増	31.4%	40.8%	60%		市民意識調査

3 基本構想でめざす姿や状態に近づくために考えられる「望ましい取組」とその「担い手」

A 班

1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり

担い手(…(誰)が)	役割(望ましい取組)(…をする(とめざす姿や状態に近づく))
市民 高校生・若者 地域住民	長期休暇を利用した地域活動(ボランティア活動) 祭りに若者を参加させる
各種団体等 自治会 自治会連合会 ボランティア連絡協議会	誰が読んでもわかる地区防災マニュアルの作成 ボランティア活動の報告等、活動の周知に努める 青年会の連携
事業者等 市内企業	個人のボランティアを支える仕組みづくり
行政機関 市 県 学校	個人のボランティアを支える仕組みづくり 高校生にボランティア単位を与える仕組みづくり 少子化対策として、婚活や子育て支援の補助等に取り組む 市民に対してわかりやすい情報提供を行う リーダーの育成

A 班

1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習

市民 若い世代 現役(働いている)世代	若い人の意識が低いため、スタート地点での位置付けを行う
各種団体等 青年会 自治会 PTA	若い人の意識が低いため、スタート地点での位置付けを行う
事業者等	
行政機関 市 学校	生涯学習リーダーの認定制度 子ども会に対する支援

A 班

1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

市民 地域住民	世代間の交流 交通安全、子どもの見守り
各種団体等 子育てサークル 自治会 子供会 PTA 老人クラブ	交通安全、子どもの見守り 世代間の交流 男女共同参画の成熟
事業者等 市内企業	職場環境の改善 母親に対する支援
行政機関 国 県 市	子どもを増やす政策が必要 24時間体制の保育施設 北高跡地への交流エリア 男女共同参画の成熟 ファミリーサポートセンターの広報

A 班

1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育

市民 地域の高齢者	伝統芸能の継承 学校と地域の交流
各種団体等 PTA ボランティア団体 見守り隊	不審者対策(見守り活動等)
事業者等 市内企業 商店	職場体験 デュアルシステム
行政機関 学校 教育委員会 警察	子どもたちに関する情報の共有 イジメを無くする 学校と地域の交流 学校の積極的な活用 学校開放日の周知 体験学習の復活(キャンプなど) 異動の間隔を長くし、子どもと触れ合う時間を増やす 不審者対策(見守り活動等)

B 班

1(5)子どもも大人も心と体の健康づくり

市民	ガン撲滅運動 運動習慣 減塩を心がける 禁煙運動 飲酒は適量を心がける 食生活の改善 検診の受診 自然の中で暮らすライフスタイルへの転換 家庭内の会話を多くする
各種団体等 健康推進員 民生委員 自治会 自死対策ボランティア PTA 健康づくりサークル	検診受診率の向上 ガン撲滅運動 悩みごと相談
事業者等 新聞社 医療機関	検診の受診を勧める
行政機関 市	事業所への助成 食生活の改善(家庭のみそ汁調査) ガン撲滅運動 検診受診率の向上 ガン検診、ピロリ菌の検査 ガン患者団体への援助

B 班

1(6)地域で活躍する元気な高齢者

市民		清掃活動等の高齢者による地域ボランティア活動の推進 高齢者が児童公園等に草花を植える
各種団体等	自治会 いきいきサロン	高齢者の孤立化を防ぐ 自治会の活性化 気軽に集まれる場の開放
事業者等		
行政機関	市	高齢者の孤立化を防ぐ 生きがいを持てる活動の場の紹介 空き地(個人所有地)の積極活用 高齢者が参加できる軽作業を考える 空き地(個人所有地)の積極活用 (サロン)リーダーの育成

B 班

1(7)地域で社会で自立する障がい者

市民	障がい者	清掃活動
各種団体等	社会福祉協議会 傾聴・点訳等のボランティア	障がい者人材センターを作る 障がい者に対する理解を深める(障がい者福祉大会、スポーツ大会、であいのコンサート)
事業者等		公共交通機関のノンステップ化 障がい者団体への仕事の提供
行政機関	市 県 国 とらいあんぐる	バリアフリー化のさらなる推進 相談窓口のPR 親の育成講座 障がい者人材センターを作る 障がい者団体への仕事の提供 公共交通機関のノンステップ化

C 班

1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

市民	子供会 地域の小中学生	学習発表会
各種団体等	檜山歴史ガイド ボランティア 民俗芸能連合会 芸術文化協会 文化財保護協会 飲食業者	草刈作業 観光客に対する土日の対応 民俗調査 民俗編の報告書を発行する 古文書の発掘・解読者の育成 イベント時の食事の斡旋
事業者等		
行政機関	市 県 国 学校	檜山城跡・大館跡の発掘調査(10カ年計画) 歴史資料館・美術展示館の整備 史跡公園トイレの整備 檜山崇徳館の展示物の充実 財政・人的支援 民俗芸能への助成 伝承民俗支援基金の創設 古文書の発掘・解読者の育成 古文書館を図書館に併設

C 班

1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ

市民	父母 審判員 スター選手	バスケサマーキャンプの検討 総合型スポーツクラブを増やす
各種団体等	体育協会 スポーツ少年団 自治会 OB・OG会	一般参加が可能なバスケ大会を年4回開催 スポーツリーダーバンクの創設 バスケサマーキャンプの検討 総合型スポーツクラブを増やす
事業者等		
行政機関	学校・教員	指導者の組織化 アリナスの有効活用 総合型スポーツクラブを増やす

C 班

1(10)認め合い支え合う社会づくり

市民		外国語指導者になる
各種団体等	ボランティアセンター 日本語学習会	国際交流ホームステイの実施 外国語指導者の養成
事業者等	商工会 ハローワーク	女性の起業セミナーの開講
行政機関	市 教育委員会 ALT 教員	ALTと市民との交流会を開催 外国語指導者を育成する ボランティア養成講座を開催 複数の言語による表示を行う(米・中・韓)

D 班

2(1)環境を核とした活力ある産業創出

市民		資源リサイクル、ごみの分別(回収BOX、生ごみ堆肥等)
各種団体等		
事業者等	林家・木材事業者 風力発電所 商工業者 リサイクル起業 能代港リサイクルセンター 起業家	再生可能エネルギー産業の創出(太陽光・バイオマス・小水力・風力・もみがらペレット等) 商品案内ができる場所を作る リサイクルに関する先進的な取組を行い、関連する企業集積を図る
行政機関	市	能代の特徴がわかる地域産業カタログの作成 地域のロコミを利用したPR リサイクル港としての活用

D 班

2(2)雇用を産み出す企業立地

市民		市民の総力を投じた企業誘致活動 地域資源を活用した加工品の開発、農産物の商品化
各種団体等	関東能代会	リスク分散による企業立地
事業者等	企業 銀行	農産物の加工・商品化 地域資源(農産・林産物)を活用した加工品の開発 融資等による企画のサポート 外部資金を活用し、地場産品との連携を図る アンテナショップを作り、地域外への情報発信や雇用に繋げる
行政機関	市 県 議員	起業しやすい環境づくり 起業受付窓口のような総合案内書の設置 大学・専門学校を誘致する 若者が集まる場所を作る 情報発信

D 班

2(3)力強く持続する農業

市民		地場産品を購入する
各種団体等		
事業者等	JA 農家 加工組合 道の駅 商工会議所	農商工連携による6次産業化を進める 高付加価値の農作物を作る 農産物加工品の開発 流通の簡素化 地産地消の推進 トップセールスを積極的に行う 規格外品の加工・販売
行政機関	市 学校 土地改良区	農商工連携による6次産業化を進める トップセールスを積極的に行う 地産地消の推進 学校給食へ地場産品を活用 区画整理率の向上を図る 農地の集積を図る

D 班

2(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業

市民		木造住宅を選択する 杉の名刺を活用する
各種団体等		
事業者等	森林組合 木材関連事業者	間伐残材等をバイオマス発電やペレット等に活用する 杉を構造材として活用できる工法の開発 木の良さに親しめるような商品開発・販売 杉デスくんなどを気軽に購入できるようにする
行政機関	市 県 国 木材高度加工研究所	学校を木造にする 杉を構造材として活用できる工法の開発 木を使用した街なみ

E 班

2(5)まちのにぎわいをつくり出す商業

市民		
各種団体等		各団体のネットワーク構築
事業者等	商店街 商店主	起業を望む人に空き店舗を貸し出す 小規模でも通年でイベントを多く開催し、賑わいを創出する キャンペーンや割引販売 各分野における後継者の育成 能代・二ツ井地域双方で利用できる振興券の拡大
行政機関		各分野における後継者の育成支援 能代・二ツ井地域双方で利用できる振興券の拡大

E 班

2(6)豊かな自然とその恵みを活かす観光

市民		
各種団体等	観光協会 観光ガイド 檜山歴史ガイドの会 茶畑ボランティア 風の松原に守られる人々の会 地域活性化協議会 おとも自然の会・土地改良区	旧天神小を活用したカヌー製作 小友沼のラムサール条約登録 能代七夕の常設展示体験場 史跡・自然探訪を目的としたガイド研修 風の松原で(ノルディック)ウォーキング・マラソン大会 自然観察会
事業者等	旅行会社 バス会社 商工会議所 JR 商工会議所青年部	観光資源の活用(白神クルーズ、海上花火大会、自然探訪)
行政機関	市 教育委員会(学校)	地域と連携したイベント(桜まつり、納豆まつり、茶摘体験等) 体験学習の促進

E 班
2(7) 自然と共生し地域で支える環境保全

市民		
各種団体等	山の会(能代・ニツ井) 観光、歴史等のガイドの会 老人クラブ 婦人会 自治会・町内会 米代川を守る会 おとも自然の会・土地改良区 風の松原に守られる人々の会 黒松の会 ボランティア団体	登山・トレッキング等のコースマップの作製、案内板設置 自然観察会を通じて環境学習に取り組む 街なか、松原、海・川などのごみ巡回指導 街路樹の剪定 花を植える運動 クリーンアップ活動 ガイドの研修
事業者等		
行政機関	国土交通省 国・県・市	自然観察会を通じて環境学習に取り組む 登山・トレッキング等のコースマップの作製、案内板設置

E 班
2(8) 資源を大切に社会を持続できる環境衛生

市民		資源ごみの分別の徹底 マイバッグ運動
各種団体等	サークル連合会 商工会女性部 婦人会 老人クラブ	資源ごみの分別の徹底 マイバッグ運動
事業者等	企業 ごみ回収業者 リサイクルショップ スーパー・ショッピングセンター BDF製造業者	資源ごみの回収(紙類、アルミ、ペットボトル、トレー等) 電化製品の回収 廃食用油回収を徹底し、BDFの製造を行う BDFをエコバス等に活用する
行政機関	市 保健所 学校	資源を大切に指導教育 上下水道の整備

F 班
3(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

市民		譜難訓練の実施 避難場所の確認
各種団体等	自治会 火災予防組合 交通安全協会 交通安全母の会 PTA 婦人会	【防災】 住宅用火災報知器の設置率を高める 地域のコンビニ等と連携して非常時の協力体制を 【防犯】 行政機関と連携して通学路の点検・パトロールを行う 【交通事故】 高齢者の免許返納の推進、経歴(生涯)証明書を発行 自転車や自動車のマナー向上のため街頭指導を行う
事業者等	事業所 コンビニエンスストア	【防災】 非常時の食料・水の確保のための協力体制(協定締結) 【防犯】 オレオレ詐欺等の防止のため声かけを行う
行政機関	国・県・市 学校 警察	【防災】 女性消防団員・機能別消防団員の確保 各行政機関で防災計画の見直し 住宅用火災報知器の設置率を高める ハザードマップの作成(標高・距離・時間等の表示) 防災教育を行う 防災無線の設置 【防犯・交通事故】 地域と連携して通学路の点検を行う(街灯設置、パトロール等) 詐欺や訪問販売等のトラブルに関する勉強会や声かけを行う 広報、メール、回覧板等を活用した情報共有の強化

F 班
3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

市民	土地所有者 中高生	排雪場所の確保に協力する 除雪ボランティア
各種団体等	自治会 ボランティア	排雪場所の確保のため地域で協力する 高齢世帯への除雪ボランティア 自治会での定期的な除排雪活動
事業者等	バス会社 タクシー会社	バス利用者アンケートで運行時間や路線を見直す 介護タクシーの導入
行政機関	国・県・市	排雪場所の確保のため土地所有者へ打診 自治会に対して除雪用重機を貸し出す 有償ボランティアの導入の検討 高齢世帯への支援

F 班
3(3)効果的で調和のとれた土地利用

市民		
各種団体等	自治会	空き家に関する情報収集に協力する(市)
事業者等	NPO ベンチャー企業	耕作放棄地対策として農産物の商品価値を高める 販路開拓
行政機関	市	空き家に関する情報提供を行う 定住人口を増やすため全国から募集を行う

F 班
3(4)快適で暮らしやすい住環境

市民		公園の清掃などを行う
各種団体等	自治会 ボランティア	公園の清掃などを行う
事業者等	通信業界	光通信地域を拡大する
行政機関	市 学校	上下水道の加入率向上のため水質や衛生面の向上をPRする 子どもに対して生活環境教育を行う 情報・通信環境の充実

G 班
3(5)安心でき健康を保てる医療体制

市民		かかりつけ医・薬局の意義を理解する 救命技能を修得する 献血に協力する
各種団体等	市民ボランティア	患者の意識改革 献血運動の推進
事業者等	医師会 薬剤師会 開業医 中核病院	地域医療体制の再構築 中核病院や開業医の役割分担
行政機関	国・県・市 消防	地域医療体制の再構築 医師育成のための奨学金制度の創設 AEDの設置促進 救命技能講座 献血の啓発

G 班
3(6)不安のない生活を支える社会保障制度

市民		制度を理解する
各種団体等		
事業者等	医師会 病院 民間福祉施設 NPO	医療と福祉の連携を図る 介護予防対策
行政機関	市 地域包括支援センター	社会保障制度のPRを徹底する 介護予防対策

G 班
3(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤

市民		
各種団体等		
事業者等		
行政機関	国・県・市	広域的な滞納整理に取り組む

参考事項

(「現状と課題」「施策の方向」に関する意見)

基本目標
政策
1 輝きとぬくもりのまち
(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり ○ボランティアという言葉が多いので、減らした方が良い。 ○「重要性が認識されています」を「重要性が認識されてきています」にした方が良い。 ○①は、「コーディネート機能」の部分を、「各種調整機能」など分かりやすい表現にできないか。
(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習 ○①は、リーダーの認定制度の設立についても追加した方が良い。 ○②は、「既存施設の活用」の部分について、「活用」の表現を変えてはどうか。 ○③は、子供会活動の活性化を図るとともに、支援をしていくといった表現としてはどうか。
(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援 ○「国では、企業における従業員…」のような表現にした方が良いのでは。
(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育 ○「態度」の表記が多い。また、「態度」という表現を変えられないか。
(5)子どもも大人も心と体の健康づくり ○生活習慣病の部分が分かりにくいので、注釈を入れてはどうか。 ○特定健診・がん検診等の受診率の状況に触れた方が良いのでは。 ○①は、「ゲートキーパー」について、馴染みがないため注釈を入れた方が良い。 ○②は、「受診率を高める」という文言を追加してはどうか。 ○④は、「地域資源の掘り起こし」について例示が必要では。
(6)地域で活躍する元気な高齢者 ○概ね良い。
(7)地域で社会で自立する障がい者 ○概ね良い。
(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術 ○文化・芸術活動の部分に、二ツ井地区の内容が不足している。 ○市史について、近世以降、近代(明治～昭和初期)についても今後取り組んで欲しい。 ○②は、二ツ井地区の施設の利活用及び旧能代地区との交流についても触れて欲しい。 ○④の部分に関し、近代についての通史の発刊も希望します。

(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ ○「生涯スポーツのもたらす効果」を「生涯スポーツの普及」とする。 ○「社会体育化」という表現が少しわかりにくい。別の表現はないか。 ○「知名度を高めています。」の表現は、例えば「知名度が高い」など、市民意識調査の結果も考慮した表現の方が適切ではないか。 ○「能代カップやきみまち二ツ井マラソンは、全国に発信できるスポーツイベントとして」の部分、例えば「能代カップやきみまち二ツ井マラソンなど、全国に発信できるスポーツイベントを開催し～」というように、2イベントに限定せず、新たなイベントの開催をも考慮した形にする。 ○「体育施設の状況」という表現を「スポーツ施設の状況」とする ○体育施設の状況について、能代地域と二ツ井地域で分けずに書く。 ○「切石ファミリーゲレンデ」の前に「二ツ井きみまちスポーツクラブが運営する」を入れる。 ○「多様化する市民ニーズへの対応や効率的な管理運営等を図るため、市の施設は指定管理者制度を導入しました。」と表現を変更する。 ○①は、「健康増進や生きがいつくり、競技力向上などの、幅広い年代層の多様なニーズに応じ、生涯スポーツを進めて～」と表現を変更する。 ○②は、「スポーツ指導者の養成」を、「スポーツ指導者の育成及び組織化」とする。 ○③は、施策名を「スポーツによる特色あるまちづくりを展開する」とする。 ○③の、「街づくり」を「まちづくり」とする。 ○③の、「特色あるスポーツのまちづくり」を「スポーツによる特色あるまちづくり」とする。 ○④は、施策名の「体育施設」を「スポーツ施設」とする。 ○④は、「能代地域と二ツ井地域」の表現を「本市」とする。 ○④は、「スポーツ施設を指定管理者で運営し」を「スポーツ施設の管理運営者と連携して」とする。
(10)認め合い支え合う社会づくり ○本文中の「受け入れ」の部分を削除してはどうか。 ○可能であれば、原発の内容を盛り込むことも検討して欲しい。 ○①は、施策名及び本文の「広める」を「高める」とする。 ○③は、施策名の「守る」を「高める」に、本文の「守って」を「高めて」に変更する。
2 元気とるおいのまち
(1)環境を核とした活力ある産業創出 ○③に、「バイオマスタウン構想を推進」とあるが、何を指すのか不明瞭であるため、もう少し掘り下げて記載してはどうか。
(2)雇用を産み出す企業立地 ○概ね良い。
(3)力強く持続する農業 ○④の、「地域が一体となった取組」とあるが、例示を出したらイメージしやすいのではないか。
(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業 ○概ね良い。
(5)まちなぎわいをつくり出す商業 ○概ね良い。
(6)豊かな自然とその恵みを活かす観光 ○現状と課題に、「豊かな自然と歴史を活かす観光」を追加してはどうか。 ○施策の方向に、施策「⑤歴史と自然を活かしていきます」を追加してはどうか。
(7)自然と共生し地域で支える環境保全 ○概ね良い。
(8)資源を大切に社会を持続できる衛生環境 ○概ね良い。

3 安全と安心のまち

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

○空き家等の増加に関し、「増加傾向にあり」の部分は、現状に合っていないので削除しては。
 ○「団員確保に向けた積極的な取組」に、「引き続き」の文言を追加してはどうか。
 ○「火災の状況と予防」は、本文を「常備消防は、能代山本圏域で広域的に実施され、初動・応援態勢が整備されました。
 管内の火災発生件数は、全国平均よりやや低い状態で推移していますが、死者の発生率が高い状態です。今後も火災予防及び住宅火災による死者の低減を図るため、住宅用火災警報器の設置指導に努める必要があります。」としてはどうか。
 ○③は、文章の校正が必要と考える。

(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

○「秋田北空港IC」を「大館能代空港IC」のように、正式名称の表記としては。
 ○「基本計画のまま残されています」を「早期着工が望まれます」としては。
 ○④の、「ニツ井～鷹巣間」を「ニツ井白神IC～大館能代空港IC」のように、正式名称の表記としては。

(3) 効果的で調和のとれた土地利用

○概ね良い。

(4) 快適で暮らしやすい住環境

○概ね良い。

(5) 安心でき健康を保てる医療体制

○概ね良い。

(6) 不安のない生活を支える社会保障制度

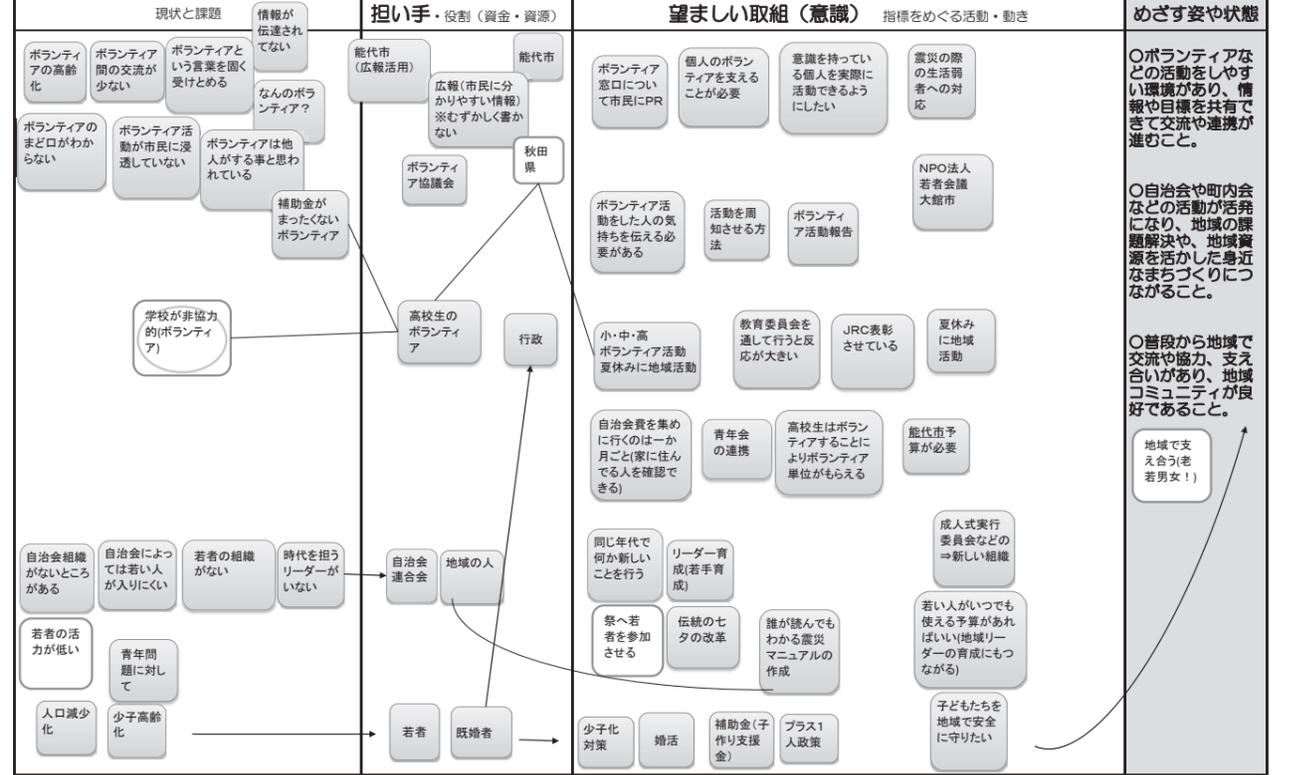
○概ね良い。

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

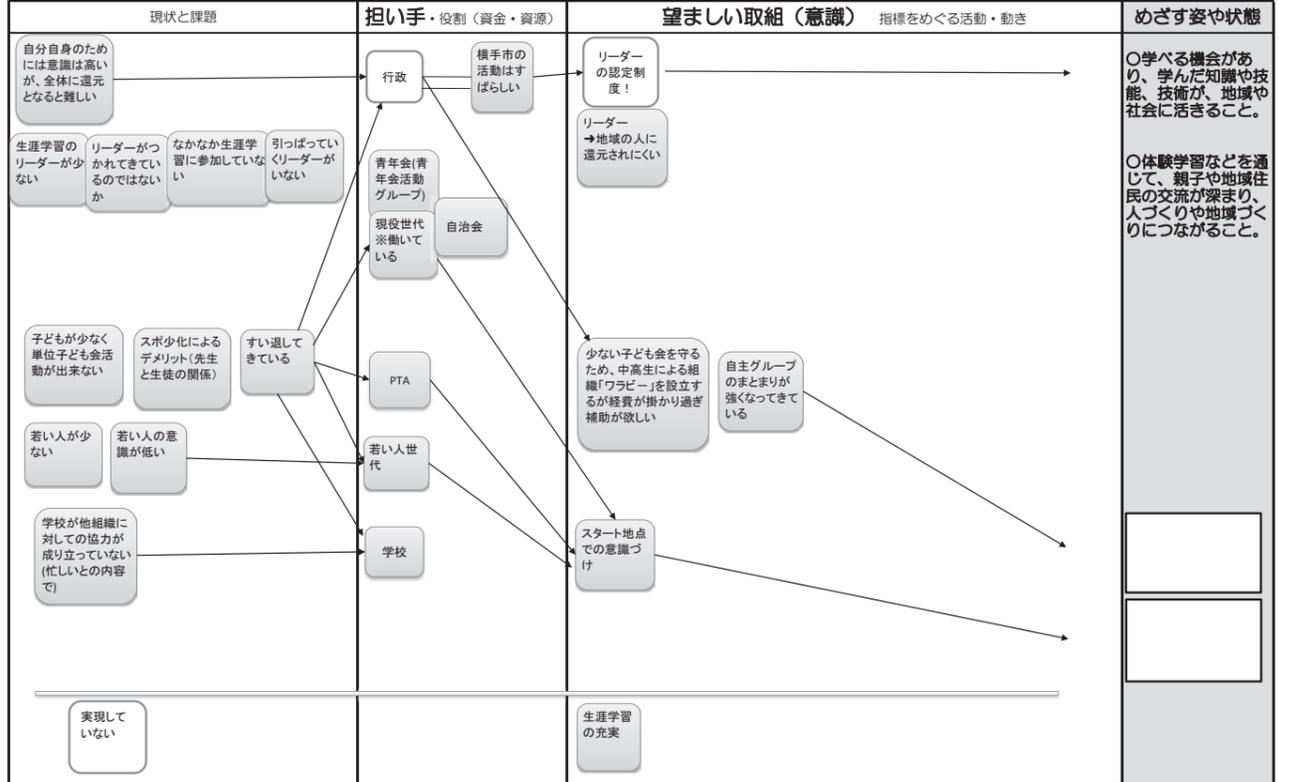
○6は、後段の表現を「地域主権改革に伴う政策課題等に対応できるよう、政策形成能力や専門知識を有する人材の採用や育成を図ります。
 また、一定の期間において専門的な知識・技能が必要とされる職種には、任期付職員の採用を検討します。」と修正してはどうか。

(ロジックモデルを使った検討状況)

政策1 (1) コミュニティで支えあう特色ある地域づくり

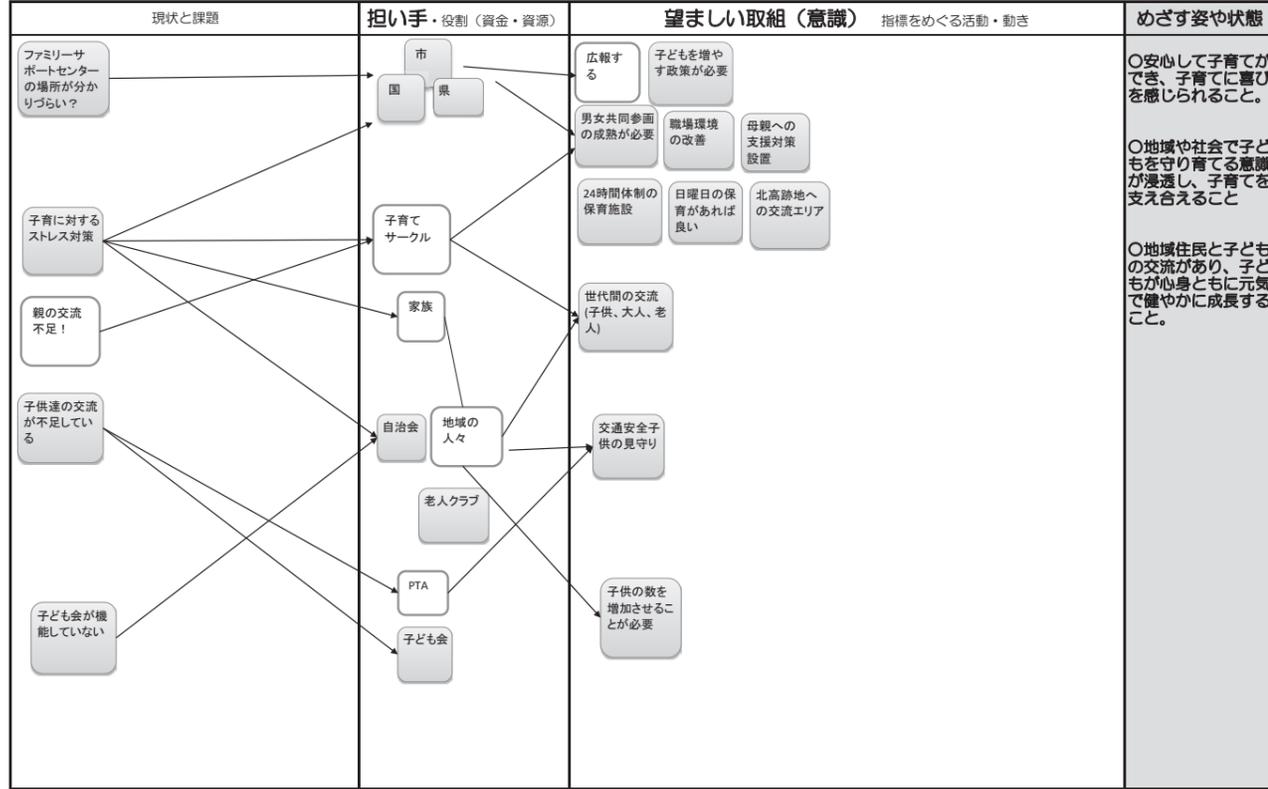


政策1 (2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習



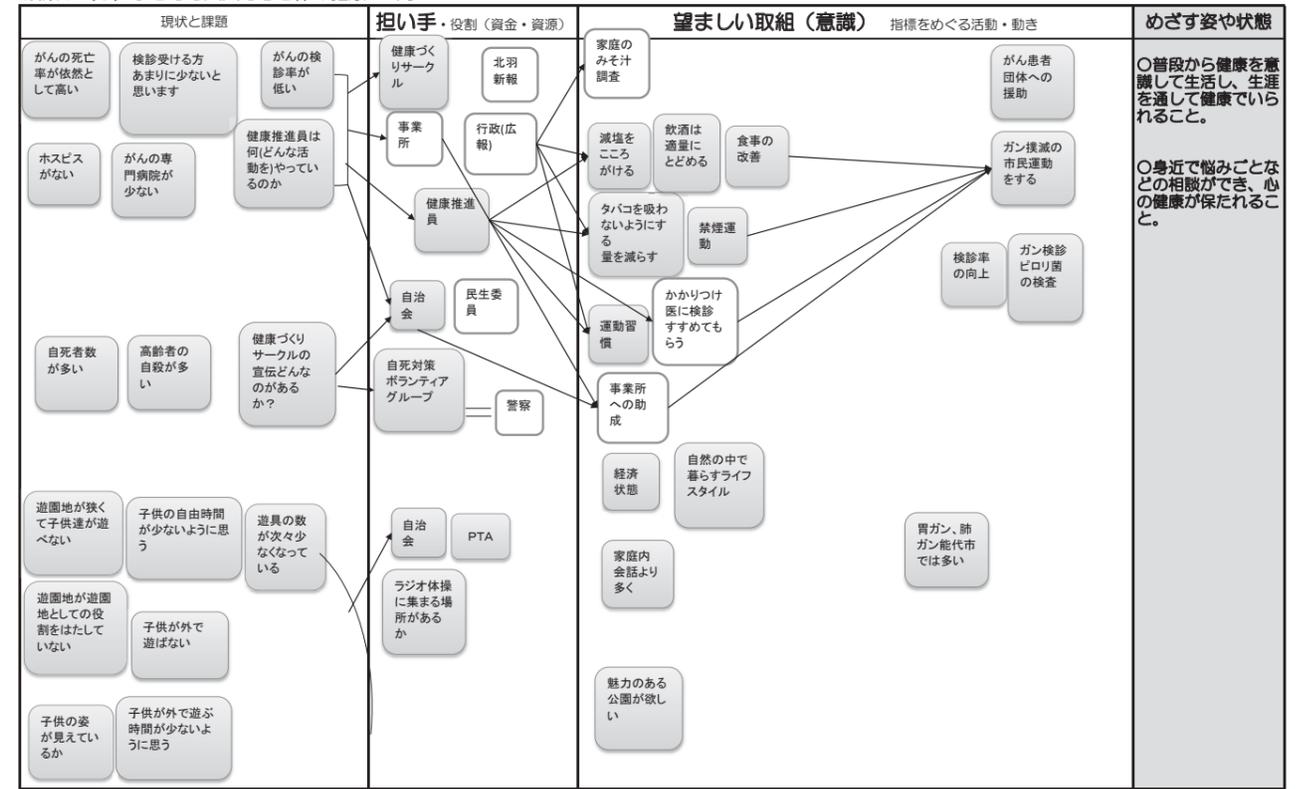
政策1 (3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

[A班]



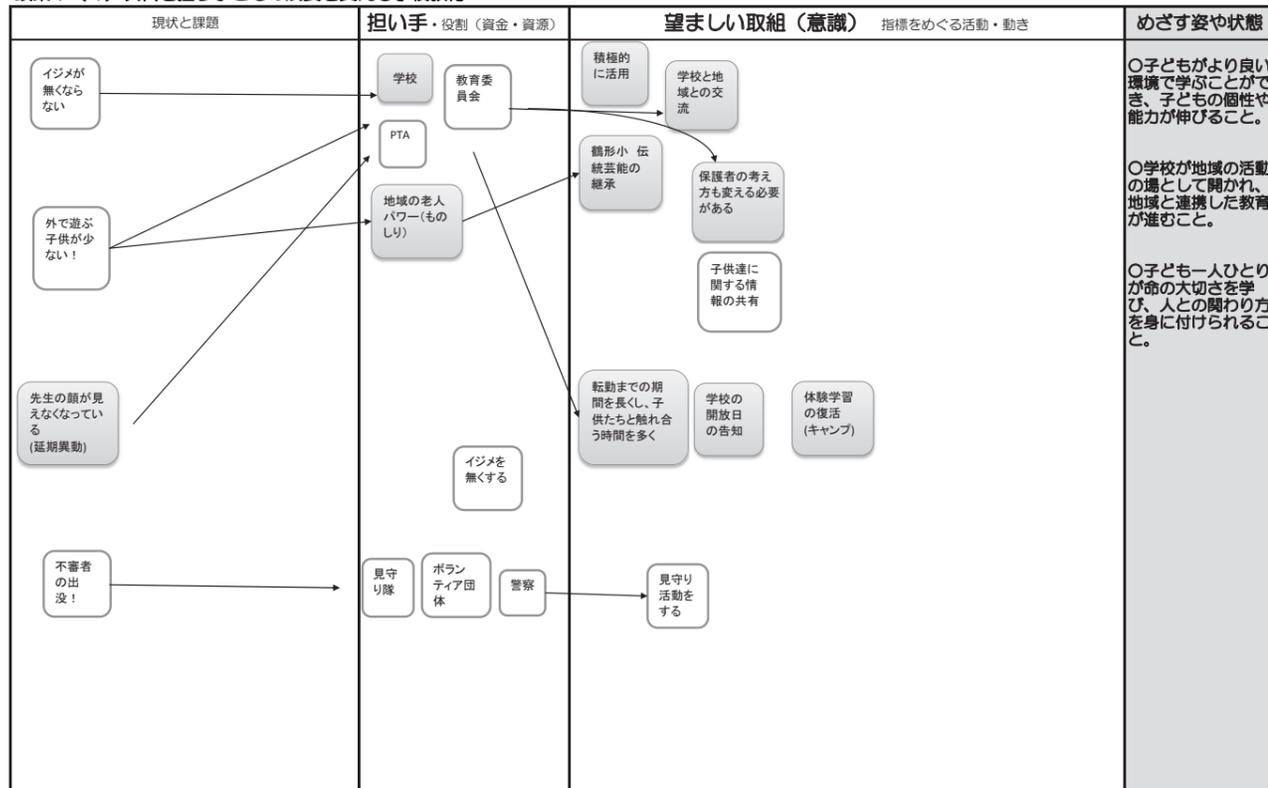
政策1 (5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

[B班]



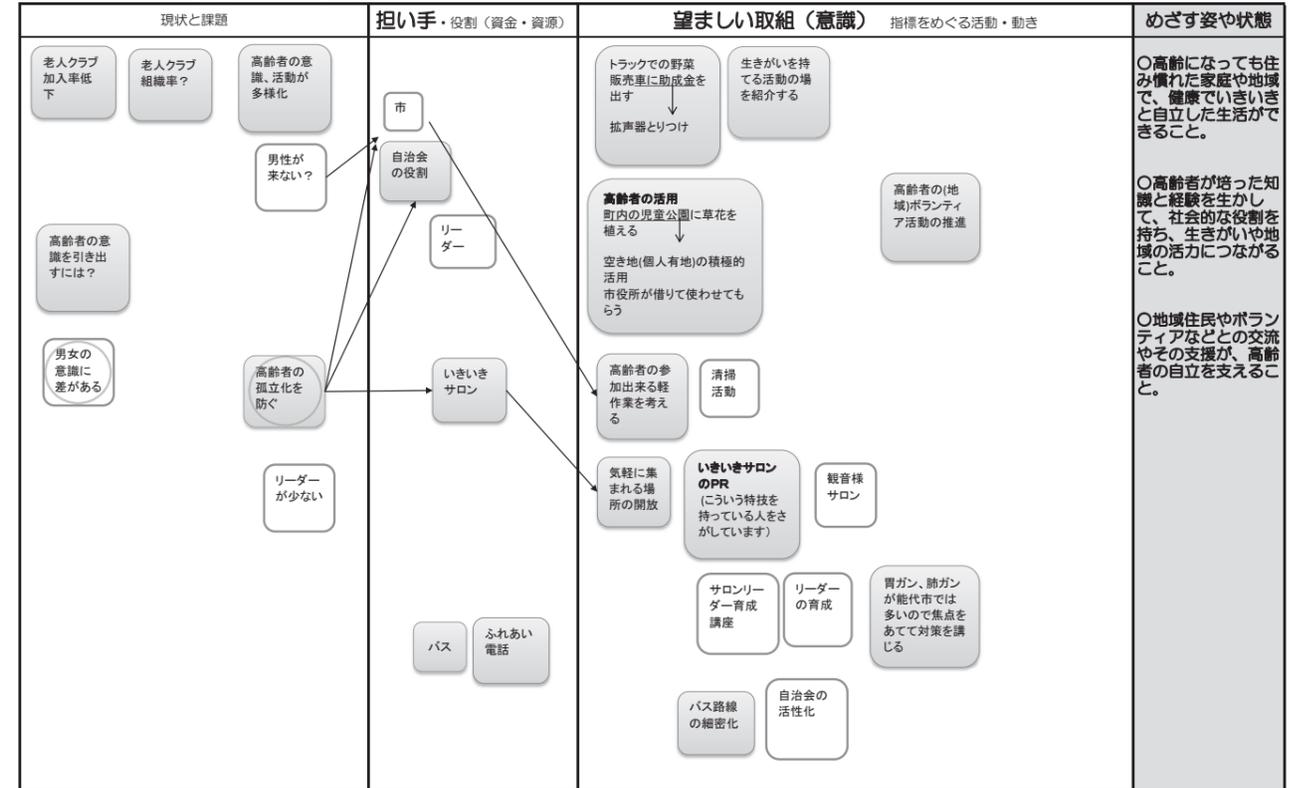
政策1 (4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育

[A班]



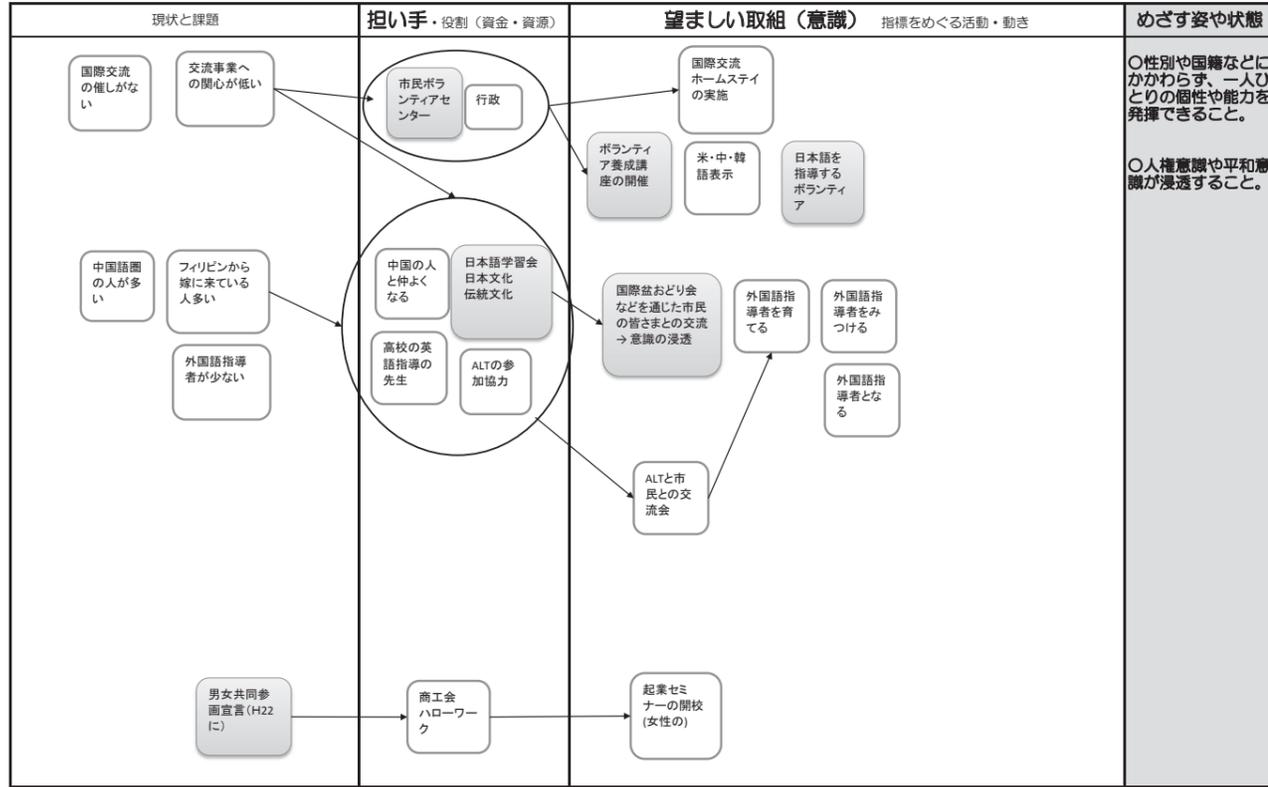
政策1 (6) 地域で活躍する元気な高齢者

[B班]



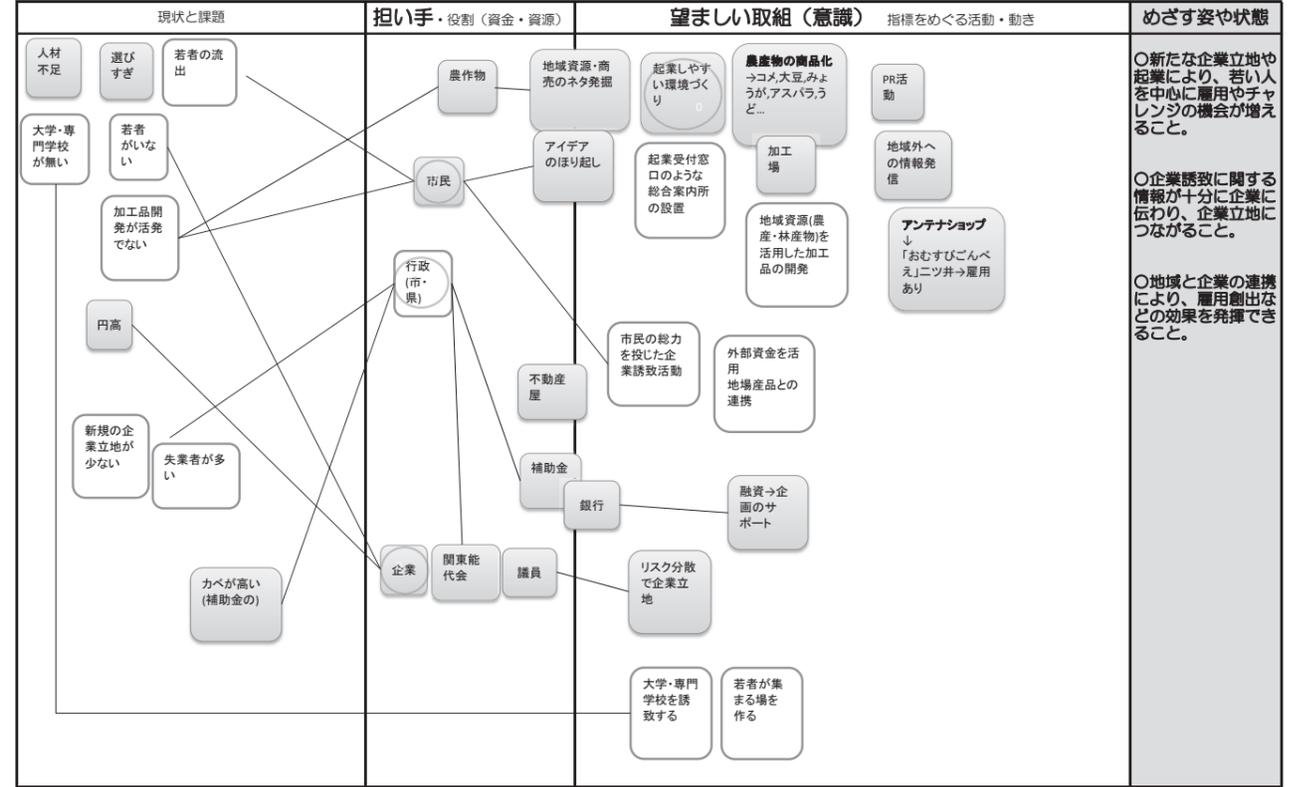
政策1 (10) 認め合い支え合う社会づくり

[C班]



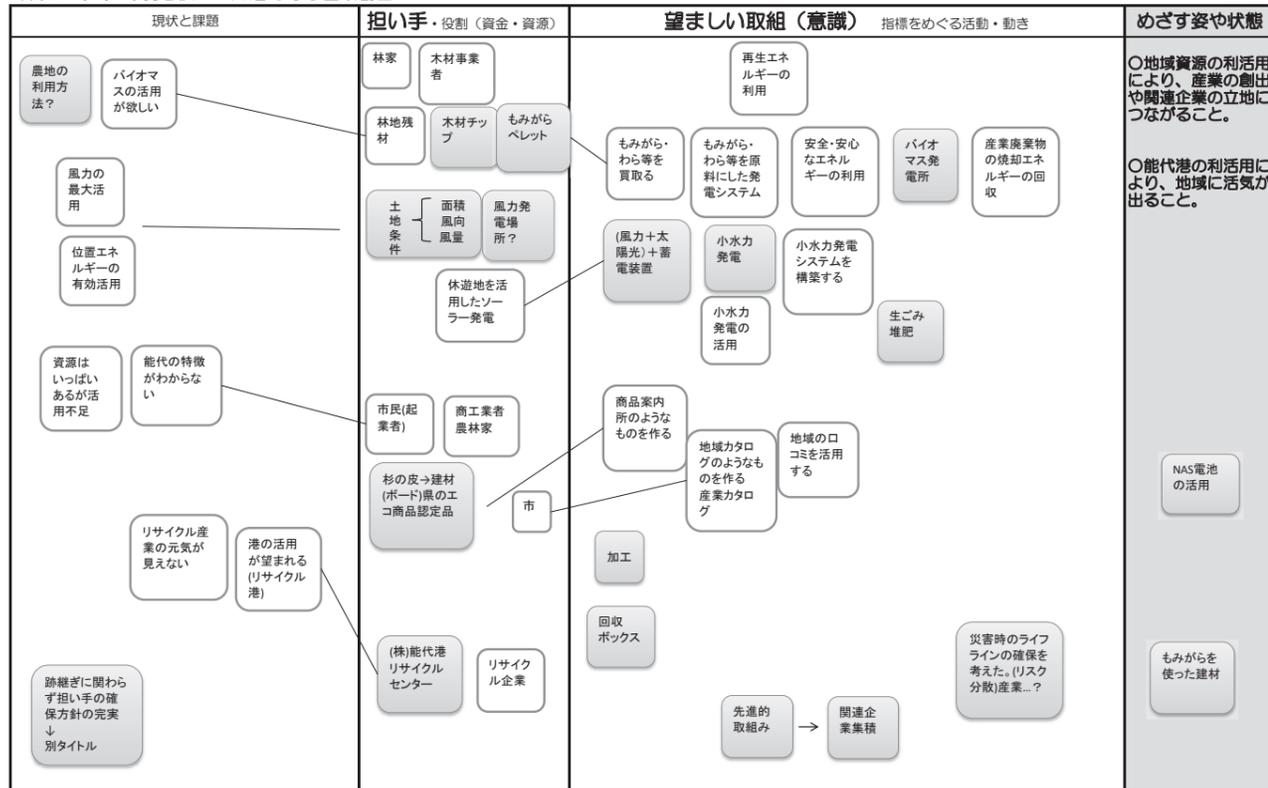
政策2 (2) 雇用を生み出す企業立地

[D班]



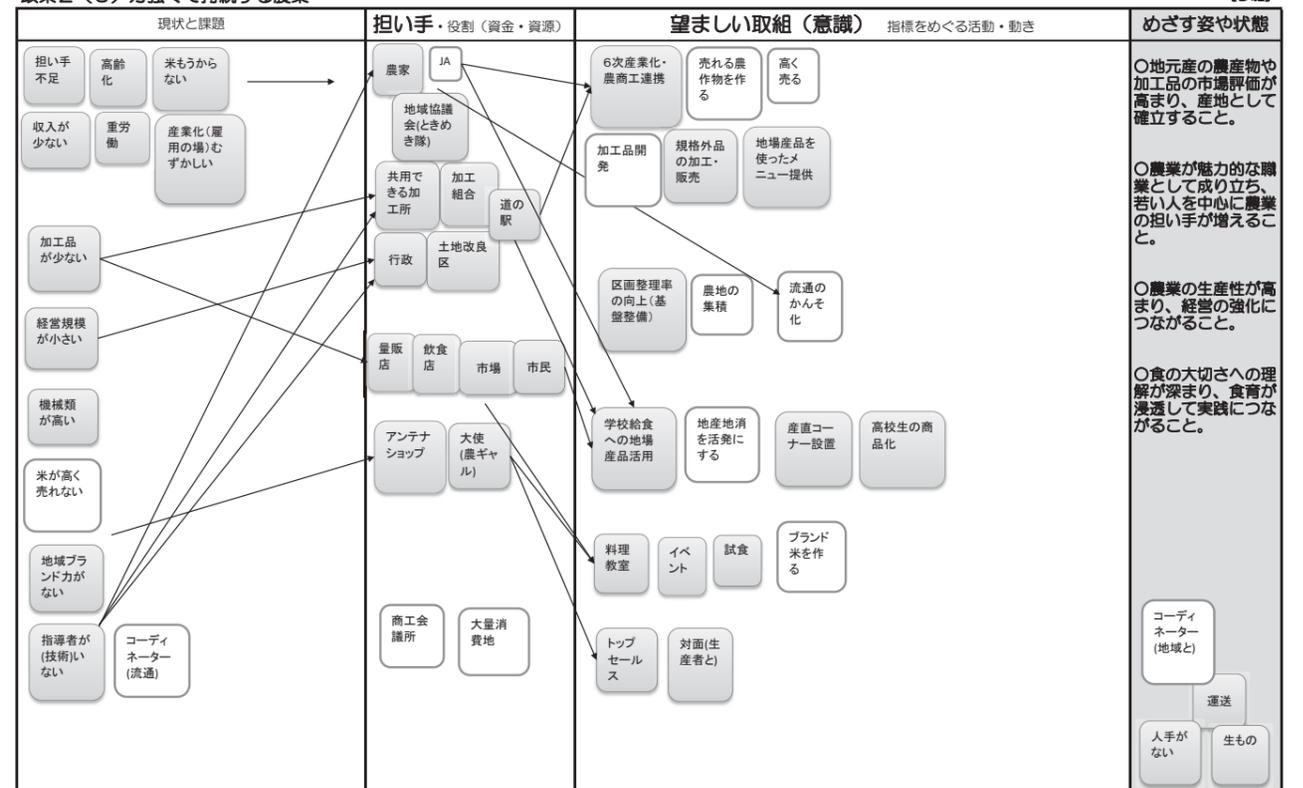
政策2 (1) 環境を核とした活力ある産業創出

[D班]

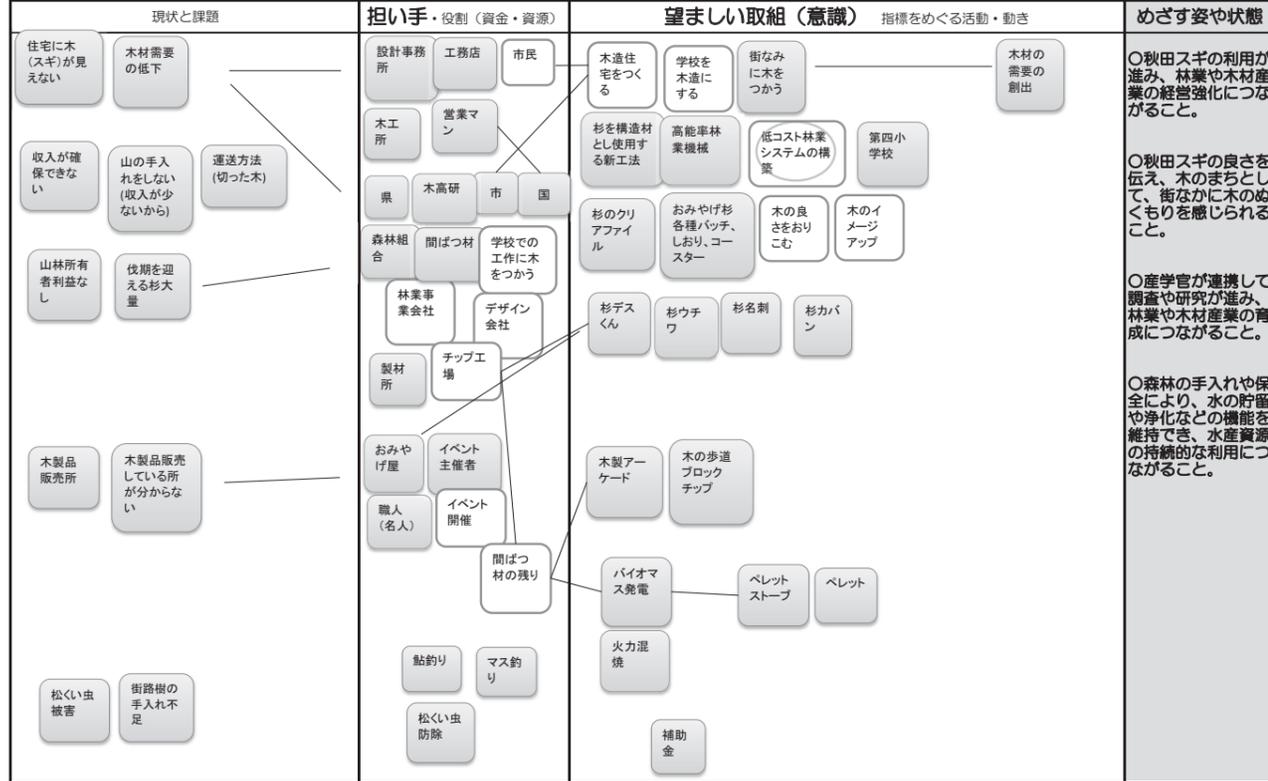


政策2 (3) 力強く持続する農業

[D班]

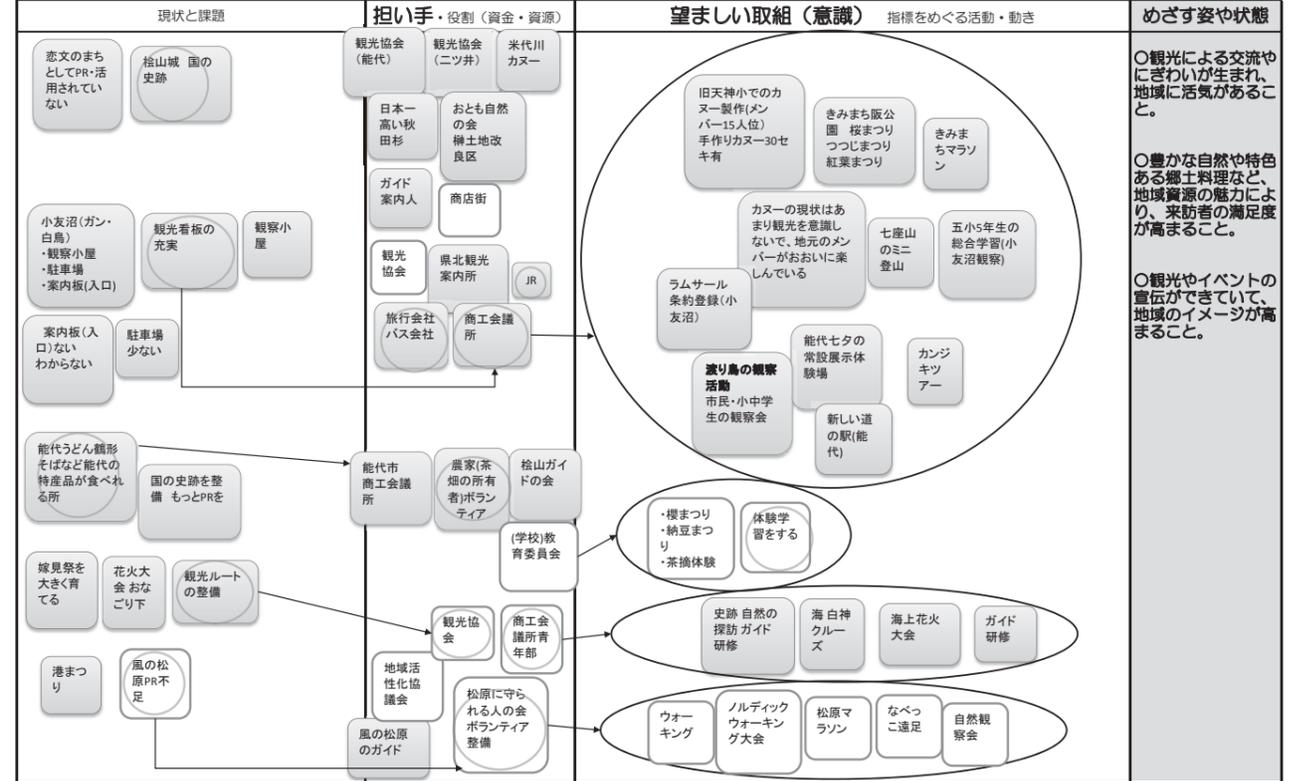


政策2(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業



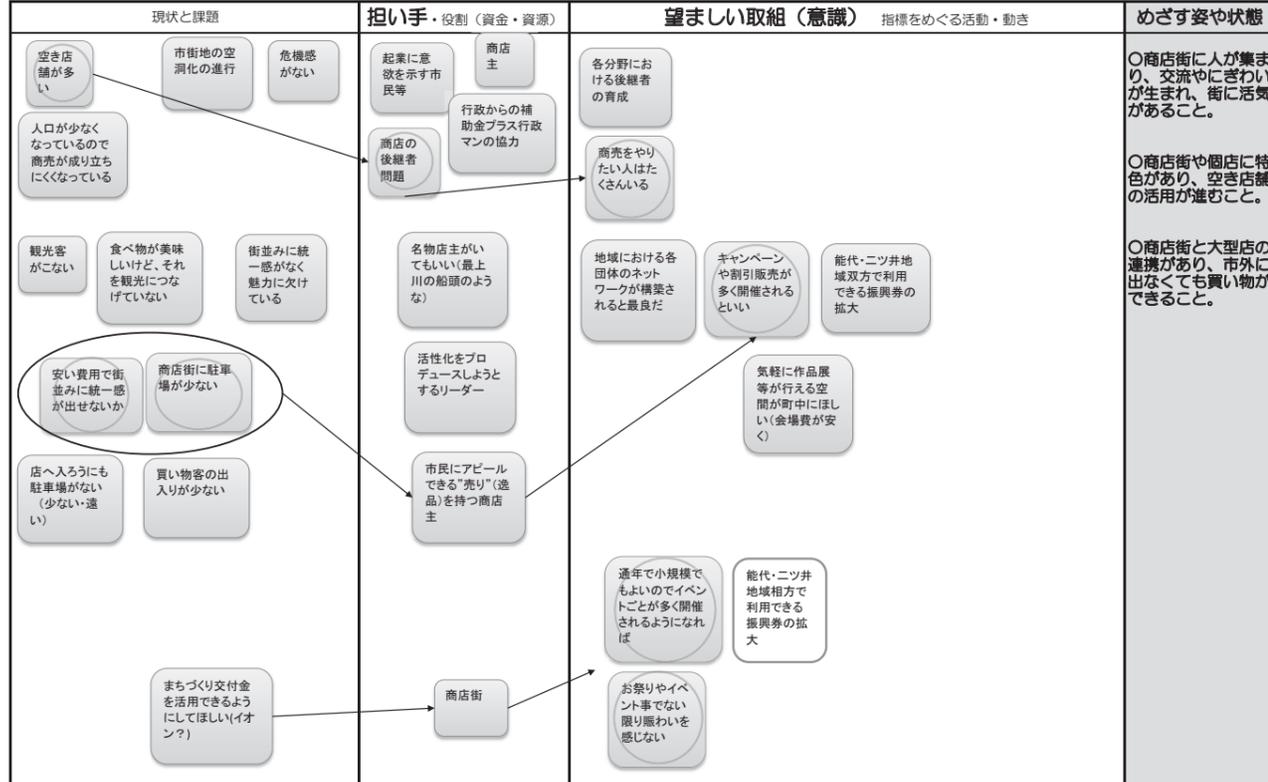
[D班]

政策2(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光



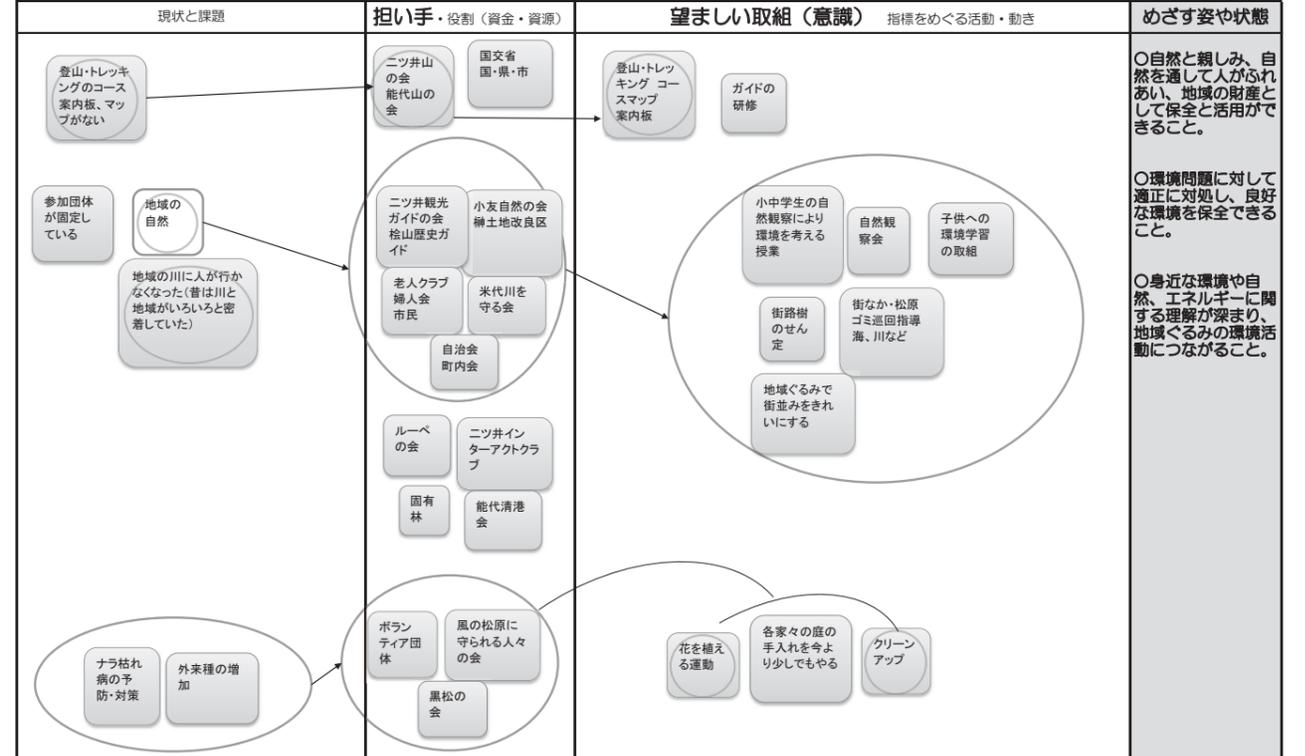
[E班]

政策2(5) まちのにぎわいをつくり出す商業



[E班]

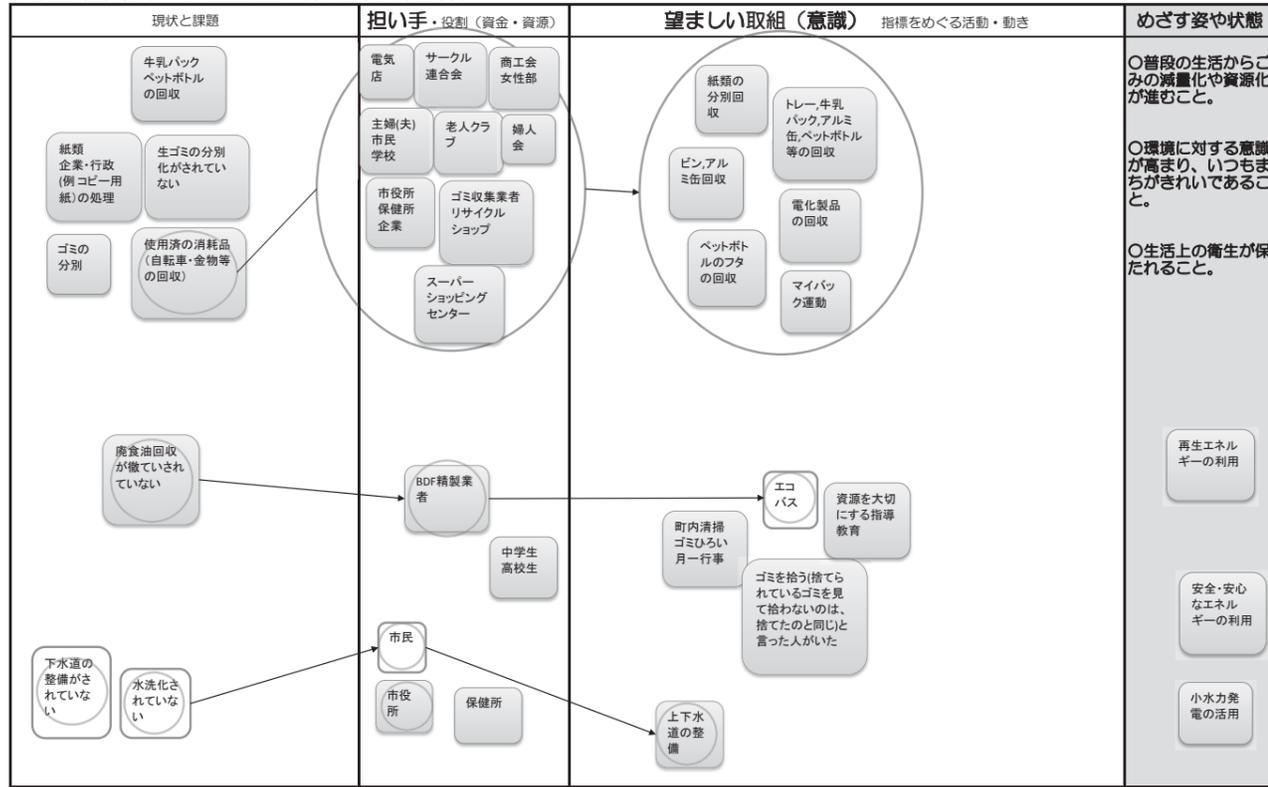
政策2(7) 自然と共生し地域で支える環境保全



[E班]

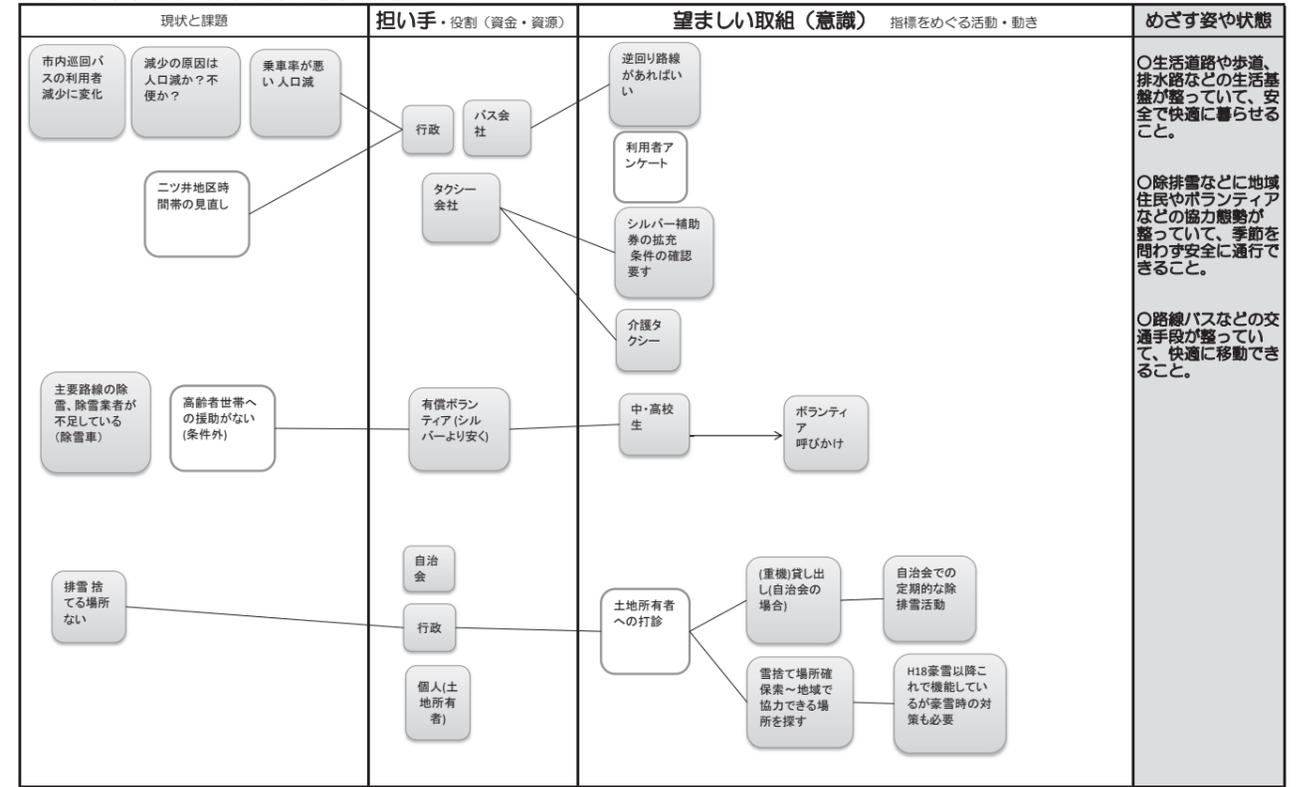
政策2 (8) 資源を大切に社会を持続できる衛生環境

[E班]



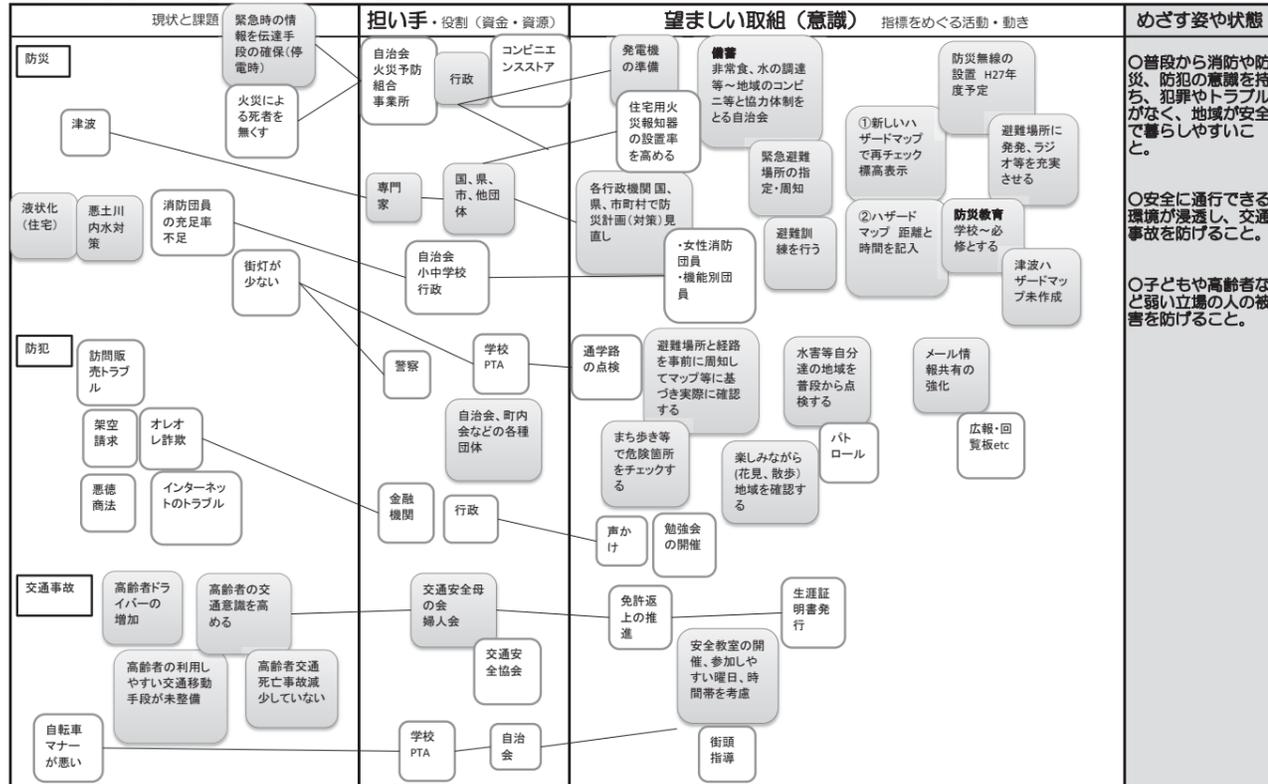
政策3 (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

[F班]



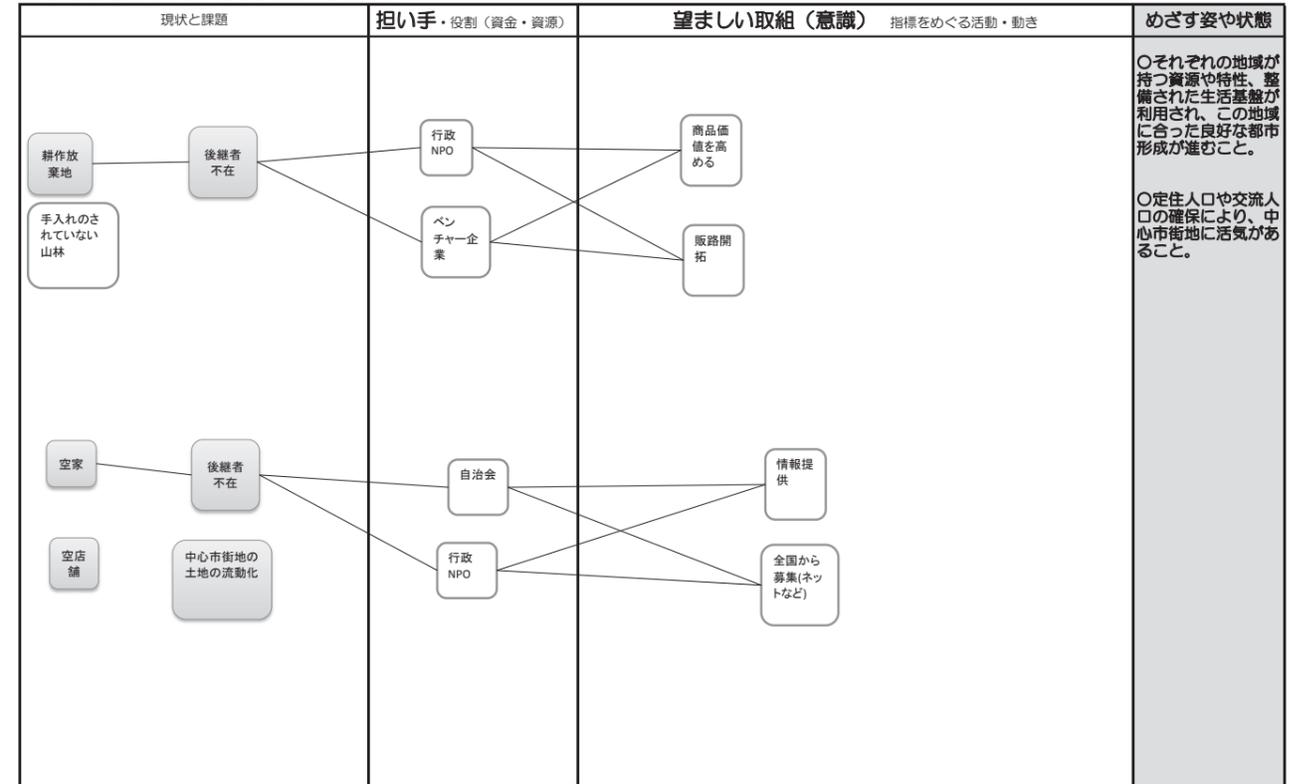
政策3 (1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

[F班]



政策3 (3) 効果的で調和のとれた土地利用

[F班]



政策3 (4) 快適で暮らしやすい住環境

【F班】

現状と課題	担い手・役割 (資金・資源)	望ましい取組 (意識) 指標をめぐる活動・動き	めざす姿や状態
<ul style="list-style-type: none"> 上下水道の充実 加入率のアップが必要 ブロードバンドは普及している but 光通信の環境は十分でない 加入率のアップが必要 現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> 学校 行政 自治会 民間 行政 行政 自治会 ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の対する生活環境教育 飲料水の水質向上をPR 衛生面の向上PR 光通信地域の拡大 情報、通信環境の充実 公園の清掃など 	<ul style="list-style-type: none"> ○飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。 ○情報通信技術を利用できる環境になること。 ○安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。

政策3 (6) 不安のない生活を支える社会保障制度

【G班】

現状と課題	担い手・役割 (資金・資源)	望ましい取組 (意識) 指標をめぐる活動・動き	めざす姿や状態
<ul style="list-style-type: none"> 制度のしくみについての理解が十分でない 制度がわからない (相談先) 老々介護 1人暮らしの増加 施設が充実しているのか 低所得者の負担軽減が図られているのか 生活保護 財源不足 年金額の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 行政 地域包括支援センター 医師会 病院 民間 (福祉施設) NPO 市民 	<ul style="list-style-type: none"> 制度のPRを徹底する 医療と福祉の連携 介護予防対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。 ○介護などが必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。

政策3 (5) 安心して健康を保てる医療体制

【G班】

現状と課題	担い手・役割 (資金・資源)	望ましい取組 (意識) 指標をめぐる活動・動き	めざす姿や状態
<ul style="list-style-type: none"> 総合病院があるが待ち時間が長い 地域に内科医が少ない 小児科医療の問題 (小児救急) 救急医療の問題 麻酔科医が不足している 医師の偏在 (地域) (秋田に) 救急医療の問題 例えば心臓等の救急医療体制が十分でない 献血が不足している 市民による初期救命対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医の相談 (役割分担) を指導する機関 ○市民 ○医師会 ○薬剤師会 ○市行政 薬剤師会 医師会 開業医 中核病院 行政 行政 消防署 市民 ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> 患者の意識改革 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義をきちんと理解する 地域医療体制の再構築が必要 病院と開業医の役割分担 中核病院の役割分担 おらほの産科小児科を守る会 医師育成のための奨学金制度 救命技術の習学 AEDの設置促進 献血運動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要ときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。 ○身近にできる救命技術や献血などが、地域医療を支えること。 献血数 献血量 AEDの設置率 救急移送数

政策3 (7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

【G班】

現状と課題	担い手・役割 (資金・資源)	望ましい取組 (意識) 指標をめぐる活動・動き	めざす姿や状態
<ul style="list-style-type: none"> ○職員定数の見直し ○市税滞納の増加見込 ○広域的な滞納整理の取組 			<ul style="list-style-type: none"> ○職員の能力を生かし、効率的な事務処理や適正な個人情報管理などにより、行政の信頼度が高いこと。 ○受益と負担の関係が公平であり、市税をはじめ収入を確保できるなど、将来にわたって行財政運営を持続できること。 ○国・県や大学、民間企業などとの連携や、他の地域との広域的な協力により、地域の課題が解決できること。 ○財政状況や契約状況など、行政情報の透明性が高いこと。

能代市総合計画市民協働会議委員名簿

		氏名	備考
輝きとぬくもりのまち分科会	A班	相沢 敏子	
		金平 正行	A班サブリーダー
		楠 清孝	
		田村 豊	輝きとぬくもりのまち副分科会長、A班リーダー
		中西 勉	
		村越 正道	
	B班	越中 武美	輝きとぬくもりのまち副分科会長、B班リーダー
		河井 千代子	委員長
		木村 高寿	
		小林 アサ子	
		田村 久子	
		松岡 亮	B班サブリーダー
C班	木村 清幸	輝きとぬくもりのまち分科会長、C班リーダー	
	嶋田 節子		
	鈴木 敬一		
	富樫 勲	C班サブリーダー	
	畠山 恒春		
	安田 雅貴		
元気とうるおいのまち分科会	D班	飯坂 秀子	
		櫻庭 富男	
		佐藤 力	
		佐藤 善典	元気とうるおいのまち分科会長、D班リーダー
		宮腰 慶聡	
		安井 大誠	
	E班	吉田 一幸	D班サブリーダー
		加藤 勝男	
		工藤 一成	
		桜田 隆雄	
		田中 恵里	E班サブリーダー
		照井 勉	
安全と安心のまち分科会	F班	藤田 節子	
		矢澤 鉄雄	元気とうるおいのまち副分科会長、E班リーダー
		小栗 将子	
		九島 かおり	
		長門 雅哉	
		新川 美喜子	F班サブリーダー
	G班	藤田 司	安全と安心のまち分科会長、F班リーダー
		松岡 隆春	
		渡部 政喜	
		安部 美恵子	
		中村 浩三	副委員長
		成田 貴朗	安全と安心のまち副分科会長、G班リーダー
		畠山 義人	
		藤原 齊	
		渡部 英敏	G班サブリーダー

【グループ（班）の担当政策】

A班	地域づくり、生涯学習、子育て・子ども支援、学校教育
B班	健康づくり、高齢者、障がい者
C班	文化・芸術、スポーツ、社会づくり
D班	産業創出、企業立地、農業、林業・木材産業・水産業
E班	商業、観光、環境保全、衛生環境
F班	防災・防犯体制、道路・交通ネットワーク、土地利活用、住環境
G班	医療体制、社会保障制度、行財政基盤

II めざす目標指標の推移

基本目標									
政策【23年度評価】									
目標指標	前期の目標					24年度	29年度	目標値の見直し理由	
	19年度 現状	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 現状	29年度 目標		
1 輝きとぬくもりのまち									
(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり【(-)横ばい】									
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	37.8%	39.3%	37.9%	37.2%	37.9%	50.0%	60.0%	高齢者の生活上の利便性を高め、災害時の援助を行えるよう、前期の目標値を目指す	
ボランティアセンター登録者数	5,148人	5,243人	5,641人	4,863人	4,797人	6,000人	6,500人	様々なケースに対応できるよう、前期の目標値を目指す	
(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習【(-)順調】									
知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	19.0%	22.4%	19.5%	15.4%	21.1%	25.0%	30.0%	多くの人が知識や技能を発揮することで、後から学習する人たちの選択肢が増える	
自主学习グループ数(公民館登録)	257団体	276団体	278団体	269団体	263団体	285団体	310団体	グループ数そのものより、団体の質の向上を図るため、21年度の水準を目指す	
自主学习グループ会員数(公民館登録)	4,249人	4,529人	4,504人	4,140人	4,667人	4,500人	4,600人	会員増により、各団体の活動が活発になってほしい	
生涯学習指導者、ボランティア登録者数	27組	27組	34組	34組	37組	40組	50組	(順調に推移していることから)	
(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援【(><)不調】									
子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合	25.5%	30.6%	30.6%	27.2%	31.6%	30.0%	35.0%	若い人たちがここで子育てをしたいと思えるまちになってほしい	
ファミリーサポートセンター会員登録数	12人	108人	135人	145人	162人	100人	150人	子育てをしている全ての方に参加してほしい	
ファミリーサポート事業利用件数	1件	14件	28件	12件	132件	50件	75件	一人が複数回利用する場合も含め、多くの人から利用してほしい	
(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育【(-)順調】									
子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合	47.8%	48.7%	53.6%	52.4%	58.7%	50.0%	55.0%	人間性豊に育ち、地域を支える人になってほしい	
耐用年数を超える学校数	5校	2校	2校	2校	0校	0校	0校	目標を達成し、今後見込まれるものがないため、指標項目を削除	
耐震基準を満たす学校数	12校	12校	12校	13校	16校	14校	14校	目標を達成し、今後見込まれるものがないため、指標項目を削除	
(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり【(><)不調】									
からだ健康だと思う市民の割合	62.5%	64.1%	62.8%	61.4%	64.4%	70.0%	76.0%	高齢化が進む中で76%は難しいと考えることから、前期の目標値を目指す(市民意識調査で「どちらともいえない」と回答した20.2%の1/2程度の増加を目指す)	
心が健康だと思う市民の割合	61.8%	59.6%	58.3%	56.0%	62.3%	65.0%	70.0%	19.5%の半分程度の増加を目指す	
健康づくりサークル会員数	574人	563人	509人	446人	367人	5%増	10%増	サークルをどこまで把握しているかわからず、実態を反映しているとは言い切れないことから、「日常的に運動を習慣にしている人の割合」を指標化すべきとの提案(H23)を受け、削除	

週3回以上運動・スポーツに親しんでいる人の割合	—	31.7%	27.2%	28.6%	27.6%	28.9%	39.0%	年2%の増加を目指す
がん死亡率(人口10万人対)	393.3	412.4	420.6	445.7	396.0	396	326.2	10%減 20%減 (変更なし)
自殺死亡率(人口10万人対)	67.4	47.3	38.1	45.4	30.5	30.5	30.5	県平均に近づける 県平均を下回ることを目指す (変更なし)
喫煙率	—	—	—	—	—	19.3%	15.0%	年1%の減少を目指す

(6) 地域で活躍する元気な高齢者(▷◁) 不調

高齢者人口に対する自立高齢者率	84.0%	84.0%	83.8%	82.8%	81.3%	80.6%	80.0%	82.0% 80.0% 介護予防を進める
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民(高齢者)の割合	48.1%	51.0%	52.2%	46.7%	46.9%	46.7%	60.0%	60.0% 70.0% 市民意識調査の「どちらともいえない」と回答した人の半分程度の増加を目指す
シルバー人材センターの登録会員数	391人	396人	388人	400人	394人	357人	400人	5%増 10%増 24実績値の10%程度の増加を目指す
シルバー人材センターの就業延人員	40,029人	41,824人	38,252人	38,376人	39,320人	41,959人	44,032人	5%増 10%増 (変更なし)

(7) 地域で社会で自立する障がい者【(--) 横ばい】

障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	0人	1人	4人	9人	12人	20人	40人	13人 13人以上 国の基本方針や市の計画による
事業所における障がい者雇用率	2.31%	2.45%	2.37%	2.54%	2.66%	2.46%	2.70%	2.60% 2.70% (変更なし)
障がいを持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	12.9%	17.6%	13.9%	11.2%	15.0%	14.4%	20.0%	20.0% 28.0% 前期の目標値を基準に毎年1%程度の増加を目指す
手話サークル登録者数(ボランティアセンター)	63人	72人	71人	48人	38人	—	—	70人 80人 聴覚障害に特化しているため新指標に→削除
障がい者支援ボランティア団体登録者数	—	119人	105人	89人	83人	80人	100人	— — 毎年4人程度(80人×5%)の増加を目指す
ボランティアセンター登録者数	5,148人	5,243人	5,641人	4,863人	4,797人	5,023人	6,000人	6,000人 6,500人 1(1)再掲
公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	5.4%	5.6%	5.5%	5.5%	9.2%	9.3%	12.0%	8.0% 11.0% H24から3%程度の増加を目指す

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術【(--) 横ばい】

地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	33.7%	33.5%	33.8%	31.6%	31.2%	29.1%	34.0%	42.0% 50.0% 少子高齢化の実態を踏まえ、担い手が少ない現状から、計画策定時の水準を目指す
自主学习グループ数(公民館登録)	257団体	276団体	278団体	269団体	263団体	263団体	280団体	285団体 310団体 1(2)再掲
自主学习グループ会員数(公民館登録)	4,249人	4,529人	4,504人	4,140人	4,667人	4,667人	5,000人	4,500人 4,600人 1(2)再掲
能代市民俗芸能連合会加盟団体数	19団体	19団体	19団体	19団体	19団体	19団体	20団体	20団体 維持 1団体の増加が適当

文化財保護協会の会員数	121人	105人	101人	98人	99人	114人	150人	150人 維持 前期の目標値を目指す
檜山歴史ガイドの会会員数	42人	41人	48人	43人	50人	47人	50人	50人 維持 必要人員、教育のできる値として妥当

(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ【(^^) 順調】

スポーツに親しんでいる市民(週一回以上)の割合	43.7%	52.1%	46.0%	48.0%	48.9%	47.8%	60.0%	50.0% 60.0% (順調に推移していることから)
優良競技者・団体表彰数(栄光賞)	134人	149人	216人	256人	237人	237人	250人	170人 190人 H22に水準を目指す(過去5年間で最高)
スポーツ少年団認定指導者数	364人	434人	471人	482人	451人	451人	450人	450人 維持 目標値の水準を維持する
バスケの街を他に誇れると思う市民の割合	73.6%	69.9%	61.0%	51.0%	45.8%	42.4%	50.0%	75.0% 77.5% H19の基準値は国体の盛り上がりを受けたものと考えられる

(10) 認め合い支え合う社会づくり【(^^) 順調】

一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合	8.5%	10.4%	7.7%	11.0%	12.8%	9.6%	15.0%	20.0% 30.0% 実績値の推移から、30%(前期で定めた29年度の目標値)の半分が妥当
-----------------------------------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	---

2 元気どうるおいのまち

(1) 環境を核とした活力ある産業創出【(--) 横ばい】

資源リサイクル関連新設・増設企業数	0件	1件	1件	1件	2件	2件	7件	5年間で5件 10年間で10件 5年間の実績を踏まえ、当初の目標値設定の考え方を踏襲し、年間1件の増加を目指す
地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	34.2%	35.1%	32.1%	30.0%	29.8%	30.1%	55.0%	45.0% 55.0% 目標を高く、地産地消を実現する
能代港の外港・内港商船入港船舶数(能代火力発電所専用棧橋を除く)	277隻	263隻	214隻	171隻	203隻	203隻	350隻	330隻 350隻 汚染土壌の荷揚げの増加が必要
能代港の貨物量(能代火力発電所専用棧橋を除く)	483,562t	465,220t	354,873t	317,777t	333,450t	333,450t	571,000t	547,000t 571,000t 汚染土壌の荷揚げの増加が必要

(2) 雇用を産み出す企業立地【(--) 横ばい】

新設・増設企業数(リサイクル関連企業数を含む)	3件	5件	6件	6件	9件	11件	15件	5年間で10件 10年間で15件 (順調に推移していることから)
有効求人倍率	0.40倍	0.54倍	0.48倍	0.35倍	0.45倍	0.57倍	0.57倍	県平均に近づける 県平均を上回る 引き続き県平均を上回る
新規高卒者の就職内定率	95.9%	96.7%	99.6%	99.1%	97.4%	100%	100%	99.0% 維持 現状を維持する

(3) 力強く持続する農業【(-)横ばい】									
野菜作付面積						740㎡	維持	県の調査が終了したため削除	
	745㎡	714㎡	-	-	-	-	-		
戦略作物5品目の生産出荷額						-	-	増額を目指す	
	-	-	-	1,287百万円	1,097百万円	1,287百万円	1,500百万円		
担い手農地集積率(個人・集団を含む)						74.3%	増加に努める	能代市農業経営基盤強化促進基本構想において、32年度末目標が62%とされたため	
	46.8%	52.1%	53.2%	58.5%	54.6%	55.2%	60.0%		
地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合						80.0%	85.0%	過去最高水準のさらなる上積を目指す	
	77.5%	83.4%	82.4%	81.4%	87.7%	83.2%	90.0%		
学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合						35.0%	40.0%	近年の実績を踏まえ、伸びしろの余地として70%を目指す	
	28.8%	24.9%	24.3%	33.0%	37.6%	56.0%	70.0%		
(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業【(><)不調】									
木材製品出荷額						23,000百万円	維持	近年の実績を踏まえ、少なくとも現在の水準を維持したい	
	22,782百万円	20,297百万円	18,523百万円	15,485百万円	-	15,485百万円	15,000百万円		
木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合						55.0%	70.0%	前期の目標値を目指す	
	35.9%	35.9%	36.6%	35.4%	34.3%	33.4%	55.0%		
木の学校利用者数						13,000人	15,000人	基準年の水準まで回復を図る	
	10,975人	9,866人	9,612人	9,317人	7,433人	7,740人	11,000人		
共同研究等(委託を含む)で実際に商品化できた件数						2件	5件	前期で定めた29年度目標を目指す。	
	0件	0件	0件	1件	1件	1件	5件		
松くい虫被害量						750㎡	500㎡	現状にとどめる目標を掲げるべき	
	970㎡	849㎡	1,550㎡	1,536㎡	1,646㎡	2,488㎡	2,500㎡		
漁獲高(海)						159t	維持	基準年に近づける	
	159t	118t	59t	106t	74t	73t	159t		
(5) まちのにぎわいをつくり出す商業【(-)横ばい】									
地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合						58.0%	70.0%	70%は高すぎる。実績値の推移が横ばいのため、60%とする。	
	45.7%	47.4%	44.1%	46.2%	49.1%	46.1%	60.0%		
商店街の空き店舗率						18.5%	維持	これ以上空き店舗を増やすことはできない。現状を維持していくこと。	
	18.5%	17.5%	21.5%	22.4%	23.6%	25.1%	25.0%		
(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光【(-)横ばい】									
観光客入込客数						1,600,000人	1,800,000人	おなごりや花火大会等、アピールの仕方を工夫することで伸びていくと思う。	
	1,397,546人	1,391,127人	1,362,396人	1,491,288人	1,410,593人	1,410,593人	1,800,000人		
豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合						56.0%	70.0%	実績値が横ばいで推移していることから。	
	46.1%	45.2%	45.8%	40.0%	44.8%	42.7%	60.0%		
(7) 自然と共生し地域で支える環境保全【(-)横ばい】									
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合						81.0%	90.0%	大型バス等の道路事情や駐車場の整備状況が改善されること。イベントにより意識は上がる	
	71.7%	72.7%	67.7%	67.4%	74.0%	68.0%	85.0%		
環境自治体スタンダード(LAS-E)の合格ステージ						第2ステージ、エコアクション部門の合格	着実にレベルを上げる	市役所内部のことで、市民には意味がよくわからないことから、分かりやすい指標とすべきとの意見により、削除。	
	第1ステージの合格	第1ステージの合格	第1ステージの合格	第1ステージの合格	第1ステージの合格	-	-		
のしるクリーンパートナー登録団体数						-	-	クリーンパートナー制度をさらに周知しながら増加を目指す。(環境基本計画の見直しでは25団体以上を目標に掲げる予定であることを踏まえる)	
	-	-	-	12団体	17団体	17団体	30団体		

(8) 資源を大切に社会を持続できる衛生環境【(-)横ばい】									
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(リサイクルできるものを除く)						544g	544g以下	限界まで来ているが、さらに年5g減らすことを目指す。	
	642g	591g	537g	539g	536g	525g	500g		
限りある資源を大切にすため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合						92.0%	95.0%	高い水準で推移してきているため、年1%の増加を目指す。	
	88.5%	89.8%	88.7%	89.4%	87.9%	87.5%	92.0%		
3 安全と安心のまち									
(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制【(-)順調】									
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合						30.0%	40.0%	未曾有の災害を契機としても50%が最大。目標としては限界と思われるため、意識を維持すべき。	
	25.5%	30.0%	26.5%	31.6%	50.0%	45.6%	50.0%		
防災訓練参加者数						7,100人	7,600人	震災により防災意識は向上しているため。※ただし、H23は能代市で東北地区水防訓練が実施されたことも考慮する。	
	6,269人	7,818人	8,282人	7,604人	11,788人	11,788人	8,000人		
消防団員の定員の充足率						88.0%	維持	全国平均を目指す。	
	86.8%	83.0%	82.8%	81.9%	81.6%	83.0%	93.8%		
がけ地近接等の危険住宅の戸数						61戸	60戸	危険住宅の減少を目指す。	
	62戸	62戸	62戸	62戸	62戸	61戸	60戸		
能代警察署管内の交通事故死者数						4人	3人	ゼロを目指したい。	
	5人	3人	4人	3人	3人	4人	0人		
能代警察署管内の犯罪件数						550件	500件	学校での指導を強化し、少年犯罪の減少を目指す。	
	610件	602件	541件	519件	345件	317件	280件		
(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク【(-)横ばい】									
道路の整備延長(改良率)						56.5%	57.0%	実績により、現状値から0.8%の増加を目指す。	
	55.9%	56.3%	56.7%	56.8%	56.8%	57.2%	58.0%		
道路の整備延長(舗装率)						69.5%	71.0%	実績により、現状値から0.4%程度の増加を目指す。	
	68.0%	68.2%	68.4%	68.4%	68.5%	68.6%	69.0%		
除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合						48.0%	53.0%	これまでで最も高かったH20の水準を目指す。	
	42.9%	47.2%	44.3%	44.0%	45.8%	42.5%	50.0%		
巡回バスの1便平均利用者数						16.0人	18.0人	多くの方に利用してほしいため、目標を維持。	
	14.1人	14.5人	13.5人	12.5人	12.6人	13.0人	18.0人		
(3) 効果的で調和のとれた土地利用【(><)不調】									
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率						20.5%	維持	H19の水準を維持。	
	20.5%	17.0%	21.6%	22.5%	25.1%	23.3%	20.5%		
中心市街地の歩行者・自転車の通行量						-	-	中心市街地活性化計画における目標値を使用する。	
	5,475人	6,291人	6,337人	5,950人	5,950人	-	-		
(4) 快適で暮らしやすい住環境【(-)順調】									
水道普及率						86.0%	87.0%	二ツ井地区簡易水道や道地・機織り地区の一部加入等を見込み、90%を目指す。	
	85.6%	86.5%	86.0%	85.2%	87.5%	87.7%	90.0%		
汚水処理人口普及率						67.6%	80.0%	計画どおり推移していくと思う。(実績値の推移から、さらに13%程度の増加を目指す)	
	57.7%	56.4%	57.7%	59.2%	60.9%	63.2%	76.0%		
飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合						69.0%	75.0%	概ね順調に推移していることから。	
	65.1%	64.7%	66.4%	68.6%	69.1%	69.7%	75.0%		
ブロードバンド世帯カバー率						100.0%	100.0%	目標を達成したことから、項目を削除。	
	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-		

身近なかかりつけ医を持っている市民の割合						75.0%	85.0%	前期で定めた29年度目標を目指す。
	66.2%	66.7%	65.3%	59.8%	59.4%	63.1%	85.0%	
身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合						65.0%	75.0%	前期で定めた29年度目標を目指す。
	51.0%	52.3%	49.0%	48.0%	49.8%	56.1%	75.0%	
(6) 不安のない生活を支える社会保障制度【(-)横ばい】								
要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合						60.0%	維持	(指標として適当でないことから、新指標に移行)
	58.3%	56.0%	55.1%	49.8%	46.3%	—	—	
介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合						65.0%	維持	(指標として適当でないことから、新指標に移行)
	63.6%	66.7%	67.4%	67.2%	67.1%	—	—	
認定者のうち、要介護2～5の割合	—					—	—	高齢化が進む中で、要支援・要介護と認定されても、できるだけ中・重度に移行しないことを目指す。要支援1、2及び要介護1と、要介護2～5の割合を同程度で維持する。
	—	49.2%	49.8%	50.4%	50.5%	50.5%	50.0%	
高齢者人口に対する自立高齢者率	—					—	—	(介護予防を進める上での目安として)
	—	84.0%	83.8%	82.8%	81.3%	80.6%	80.0%	
(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤【(-)横ばい】								
市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合						50.0%	60.0%	前期で定めた29年度目標を目指す。
	31.9%	37.1%	34.2%	38.2%	41.2%	38.7%	60.0%	
定員適正化計画に基づく職員数						494人	440人以下	第2次定員適正化計画に基づく。
	634人	607人	573人	557人	540人	516人	428人	
市税の収納率(現年度分)個人市民税						98.00%	維持	(一定の水準を維持することを目指す)
	97.97%	97.20%	97.47%	97.34%	97.79%	98.01%	98.00%	
法人市民税						99.60%	維持	(一定の水準を維持することを目指す)
	99.47%	99.57%	98.79%	99.17%	99.46%	99.38%	99.60%	
固定資産税						97.40%	維持	(一定の水準を維持することを目指す)
	97.28%	97.36%	97.03%	97.13%	96.84%	96.68%	97.40%	
軽自動車税						98.00%	維持	(一定の水準を維持することを目指す)
	97.12%	96.93%	97.08%	97.05%	96.94%	97.26%	98.00%	
市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合						50.0%	60.0%	前期で定めた29年度目標を目指す。
	31.4%	40.2%	40.6%	42.0%	41.7%	40.8%	60.0%	

後期基本計画の策定の経緯

年月日	事項
H24. 7. 3	第1回総合計画推進会議
7. 25	第1回能代市総合計画市民協働会議
8. 9	第2回能代市総合計画市民協働会議
8. 9	第1回運営グループ会議
8. 29	第3回能代市総合計画市民協働会議
8. 29	第2回運営グループ会議
9. 25	第4回能代市総合計画市民協働会議
9. 25	第3回運営グループ会議
10. 2	第2回総合計画推進会議
10. 10	第5回能代市総合計画市民協働会議
10. 10	第4回運営グループ会議
10. 25	第6回能代市総合計画市民協働会議
10. 25	第5回運営グループ会議
11. 6	第6回運営グループ会議
11. 22	第7回能代市総合計画市民協働会議
H25. 1. 25	市議会全員協議会
1. 26	後期基本計画案に関するパブリックコメントの募集(～2.25、0件)
3. 19	後期基本計画を決定

市町村別人口推計

単位：人

市町村	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
秋田県（合計）	1,093,797	1,037,440	975,455	911,101	846,633	782,746
秋田市	327,130	318,841	308,034	295,130	280,710	265,170
能代市	59,822	56,378	52,536	48,589	44,683	40,949
横手市	97,733	91,584	85,119	78,703	72,489	66,373
大館市	78,103	73,395	68,241	62,950	57,770	52,884
男鹿市	33,086	30,588	27,984	25,394	22,877	20,453
湯沢市	51,626	47,917	44,109	40,420	36,886	33,538
鹿角市	34,230	31,692	29,070	26,478	23,988	21,669
由利本荘市	85,622	81,365	76,689	71,845	67,002	62,159
潟上市	35,515	34,811	33,797	32,542	31,103	29,535
大仙市	87,723	81,828	75,595	69,406	63,508	57,798
北秋田市	37,605	34,949	32,178	29,426	26,790	24,322
にかほ市	27,486	25,926	24,236	22,499	20,785	19,095
仙北市	29,991	28,003	25,915	23,796	21,763	19,781
小坂町	6,395	5,929	5,442	4,963	4,518	4,111
上小阿仁村	2,821	2,531	2,248	1,986	1,748	1,545
藤里町	3,973	3,606	3,241	2,893	2,570	2,275
三種町	18,722	17,106	15,481	13,916	12,431	11,033
八峰町	8,283	7,566	6,829	6,124	5,457	4,833
五城目町	10,905	10,113	9,274	8,424	7,605	6,828
八郎潟町	6,656	6,224	5,759	5,279	4,807	4,350
井川町	5,575	5,279	4,961	4,637	4,305	3,985
大潟村	3,182	3,090	2,942	2,758	2,568	2,387
美郷町	21,680	20,265	18,800	17,357	15,977	14,612
羽後町	16,961	15,689	14,412	13,213	12,096	11,033
東成瀬村	2,969	2,766	2,563	2,372	2,198	2,031

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）

「統計から見た秋田県の人口」（平成22年 秋田県学術国際部調査統計課）

単位：人

	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
秋田市	327,130	318,841	308,034	295,130	280,710	264,170
人口5万人以上の市	460,629	432,467	402,289	371,913	342,338	313,701
上記以外の市	197,913	185,969	173,180	160,135	147,306	134,855
町村	108,122	100,164	91,952	83,922	76,280	69,023
合計	1,093,794	1,037,441	975,455	911,100	846,634	781,749

単位：%

秋田市	29.9	30.7	31.6	32.4	33.2	33.9
人口5万人以上の市	42.1	41.7	41.2	40.8	40.4	40.1
上記以外の市	18.1	17.9	17.8	17.6	17.4	17.2
町村	9.9	9.7	9.4	9.2	9.0	8.8

※割合については、端数処理の関係で合計が100.0にならないことがある。



能代市民憲章

わたしたちの能代市は、

北に世界自然遺産白神山地を望み、西に雄大な日本海と風の松原が広がり、
地域を潤す米代川、四季を彩るきみまち阪など、美しく豊かな自然に恵まれています。
わたしたちは、このすばらしい自然と歴史、文化の豊かなまちに住むことを誇りとし、
「わ」のまち能代の発展と、健康で幸せな暮らしをめざし、ここに市民憲章を定めます。

- 和 たがいを思いやり、たがいに助け合い、
人と人がつながるまちを創ります。
- 環 豊かな環境をいかし、
あすを開く元気なまちを創ります。
- 輪 郷土の自然や伝統、文化を大切にし、
平和で安心して暮らせるまちを創ります。

能代市の花

桜(さくら)



能代市の鳥

雉(きじ)



能代市の木

黒松(くろまつ)



秋田杉(あきたすぎ)



平成24年3月21日制定



能代市総合計画 後期基本計画

発行 能代市
平成25年3月

編集 能代市企画部総合政策課
〒016-8501 能代市上町1番3号
TEL 0185-89-2142
FAX 0185-89-1762
<http://www.city.noshiro.akita.jp>